

対象校No. 584
注4

学校コード F113310103741
注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
玉川大学 工学部 デザインサイエンス学科 (必要がある場合) ○○専攻

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人玉川学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	教育情報・企画部EQA課
職名・氏名	課長・柳澤 葉子
電話番号	042-739-8804(直通)
(夜間)	042-739-8734(代表)
e-mail	jikoten@tamagawa.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「○○大学」
- ・学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

工学部

＜デザインサイエンス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	24
4. 既設大学等の状況	26
5. 教員組織の状況	28
6. 附帯事項等に対する履行状況等	54
7. その他全般的事項	56

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人玉川学園

(2) 大 学 名

玉川大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒194－8610

東京都町田市玉川学園六丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(オバラ ヨシアキ) 小 原 芳 明 (平成6年4月)		
学 長	(オバラ ヨシアキ) 小 原 芳 明 (平成6年4月)	(オバラ カズヒト) 小 原 一 仁 (令和6年4月)	辞任により令和6年4月1日 に変更(6)
学 部 長	(ヤマザキ コウイチ) 山 崎 浩 一 (令和4年4月)		
学科長等	(モリカワ シゲヒロ) 川 森 重 弘 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学部 デザインサイエンス学科 学士(工学)	工学関係	4 年	60 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	240 人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	60 (-) [-]	— () [-]	60 (-) [-]	— () [-]	—	0.51 倍	—	
志願者数	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	257 (-) [-]	— () [-]	214 (-) [-]	— () [-]	—	0.51 倍	—	
受験者数	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	238 (-) [-]	— () [-]	202 (-) [-]	— () [-]	—	0.51 倍	—	
合格者数	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	169 (-) [-]	— () [-]	145 (-) [-]	— () [-]	—	0.51 倍	—	
B 入学者数	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	— () [-]	37 (-) [-]	— () [-]	29 (-) [-]	— () [-]	—	0.51 倍	—	
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	0.61	—	0.48	—	—	0.51 倍	—	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次									36 [-] (-)	- [-] (-)	29 [-] (-)	- [-] (-)	※令和5年度1年次在学学生数には3月31日付退学者3人を含む
2 年次											33 [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次													
4 年次													
計									36 [-] (-)		62 [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	36 人	4 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	4 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への入学・転学(2人)
令和6年度	62 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		4 人		4 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{36} = \boxed{11.11} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{62} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 デザインサイエンス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
ユニバー シティ・ス タนด์ ード科目群（全学 共通科目）	玉川 教育・F Y E科目群	一年次セミナー 101	1前	2				1	1			
		一年次セミナー 102	1後	2				1	1			
		玉川の教育	1後	0.3				1	1			
		健康教育	1前	1								1
		音楽Ⅰ	1前	0.7								1
		音楽Ⅱ	1後	1								1
		全人教育論	2前・後		2							1
		ビ・アリーター	2前・後		2							1
		二年次セミナー 201	2前		2							1
		二年次セミナー 202	2後		2							1
	三年次セミナー 301	3前		2							1	
	三年次セミナー 302	3後		2							1	
	小計（ 12 科目）	-	7	12	0	0	1	1	0	0	6	
	人文科学 科目群	文化人類学	1・2・3・4後		2							1
		民俗学入門	1・2・3・4後		2							1
		美術史	1・2・3・4後		2							1
		ことばと文化	1・2・3・4後		2							1
		比較文化論	1・2・3・4後		2							1
		英語学	1・2・3・4後		2							1
		歴史(世界)	1・2・3・4後		2							1
		歴史(日本)	1・2・3・4後		2							1
		日本文学	1・2・3・4後		2							1
		日本学入門	1・2・3・4後		2							1
		日本語学	1・2・3・4後		2							1
		音楽史	1・2・3・4後		2							1
		哲学	1・2・3・4後		2							1
		倫理学	1・2・3・4後		2							1
		ロジック	1・2・3・4後		2							1
		宗教学	1・2・3・4後		2							1
		世界の宗教と文化	1・2・3・4後		2							1
		演劇史	1・2・3・4後		2							1
		人文科学リサーチ・ミックスⅠ（ライティング）	1・2・3・4後		1							1
		人文科学リサーチ・ミックスⅡ（リーディング）	1・2・3・4後		1							1
		外国文学	1・2・3・4後		2							1
		科学史	2・3・4後		2							1
		キリスト教学	2・3・4後		2							1
		名著講読(人文科学)	2・3・4後・後		1							1
		Modern Japanese History	3・4前		2							1
		Japanese Pop Culture	3・4後		2							1
		Japanology	3・4前		2							1
		East Asian History	4前		2							1
		Issues in Japanese Studies A	4前		2							1
		Issues in Japanese Studies B	4後		2							1
		小計（ 30 科目）			0	57	0	0	0	0	0	0

【令和 6 年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
ユニバー シティ・ス タนด์ード科目群（全学共 通科目）	玉川 教育・F Y E科目群	一年次セミナー 101	1前	2					2			
		一年次セミナー 102	1後	2					2			
		玉川の教育	1後	0.3						2		
		健康教育	1前	1								1
		音楽Ⅰ	1前	0.7								1
		音楽Ⅱ	1後	1								1
		全人教育論	2前・後		2							1
		ビ・アリーター	2前・後		2							1
		二年次セミナー 201	2前	2								1
		二年次セミナー 202	2後	2								1
		玉川の行事・式典 A	2・3・4後		2							1
		玉川の行事・式典 B	2・3・4後		2							1
		玉川の行事・式典 C	2・3・4後		2							1
		三年次セミナー 301	3前	2								1
		三年次セミナー 302	3後	2								1
	小計(15 科目)	-	7	18	0	0	0	2	0	0	7	
	人文科学 科目群	文化人類学	1・2・3・4後		2							1
		民俗学入門	1・2・3・4後		2							1
		美術史	1・2・3・4後		2							1
		ことばと文化	1・2・3・4後		2							1
		比較文化論	1・2・3・4後		2							1
		英語学	1・2・3・4後		2							1
		歴史(世界)	1・2・3・4後		2							1
		歴史(日本)	1・2・3・4後		2							1
		日本文学	1・2・3・4後		2							1
		日本学入門	1・2・3・4後		2							1
		日本語学	1・2・3・4後		2							1
		音楽史	1・2・3・4後		2							1
		哲学	1・2・3・4後		2							1
		倫理学	1・2・3・4後		2							1
		ロジック	1・2・3・4後		2							1
		宗教学	1・2・3・4後		2							1
		世界の宗教と文化	1・2・3・4後		2							1
		演劇史	1・2・3・4後		2							1
		人文科学リサーチ・ミックスⅠ(ライティング)	1・2・3・4後		1							1
		人文科学リサーチ・ミックスⅡ(リーディング)	1・2・3・4後		1							1
		外国文学	1・2・3・4後		2							1
		科学史	2・3・4後		2							1
		リスト教学	2・3・4後		2							1
		名著講読(人文科学)	2・3・4後		1							1
		Modern Japanese History	3・4前		2							1
		Japanese Pop Culture	3・4後		2							1
		Japanology	3・4前		2							1
		言語心理学	3・4前		2							1
		East Asian History	4前		2							1
		Issues in Japanese Studies A	4前		2							1
		Issues in Japanese Studies B	4後		2							1
		小計(31 科目)			0	59	0	0	0	0	0	0

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	社会科学科目群	会計学	1-3-4限		2								1
		経営学	1-3-4限		2								1
		マーケティング	1-3-4限		2								1
		コミュニケーション論	1-3-4限		2								1
		経済学(国際経済を含む。)	1-2-3-4限		2								1
		ボランティア概論	1-2-3-4限		2								1
		市民社会と法	1-2-3-4限		2								1
		政治学(国際政治を含む。)	1-3-4限		2								1
		ポリティカル・サイエンス	1-3-4限		2								1
		心理学	1-3-4限		2								1
		社会学	1-3-4限		2								1
		観光学入門	1-2-3-4限		2								1
		Academic Communication	2-3-4限		2								1
		国際関係論	2-3-4限		2								1
		科学技術社会論	2-3-4限		2								1
		名著講読(社会科学)	2-3-4限		1								1
	現代社会の教育課題	3-4限・夜		2								1	
	小計(17 科目)	-	0	33	0	0	0	0	0	0	0	16	
	自然科学科目群	生物学入門	1-3-4限		2								1
		化学入門	1-3-4限		2								1
		環境科学	1-3-4限		2								1
		情報科学入門	1-3-4限		2								1
		データ処理	1-3-4限		2								1
		ネットワーク入門	1-3-4限		2								1
		マルチメディア表現	1-3-4限		2								1
		STEM入門(科学と社会)	1-2-3-4限		2								1
		解析学入門	1-3-4限		2								1
		数学入門	1-3-4限		2								1
		代数学入門	1-3-4限		2								1
		物理学入門	1-2-4限		2		1						1
		科学入門	1-2-4限		2		2	1					1
		統計学入門	1-3-4限		2								1
		自然科学アカデミックス(ライティング)	1-3-4限		1								1
		自然科学アカデミックス(リーディング)	1-3-4限		1								1
		人工知能と社会	2-3-4限		2								1
		実践の物理学	2-3-4限		2								1
		宇宙科学	2-3-4限・夜		2								1
		エネルギー科学	2-3-4限		2			1					
		地球科学	2-3-4限・夜		2								1
		名著講読(自然科学)	2-3-4限・夜		1								1
		小計(22 科目)	-	0	41	0	2	1	0	0	0	0	15

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	社会科学科目群	会計学	1-3-4限	2								1
		経営学	1-3-4限	2								1
		マーケティング	1-3-4限	2								1
		コミュニケーション論	1-3-4限	2								1
		経済学（国際経済を含む。）	1-2-3-4限	2								1
		ボランティア概論	1-2-3-4限	2								1
		市民社会と法	1-2-3-4限	2								1
		政治学（国際政治を含む。）	1-3-4限	2								1
		ポリティカル・サイエンス	1-3-4限	2								1
		心理学	1-3-4限	2								1
		社会学	1-3-4限	2								1
		観光学入門	1-2-3-4限	2								1
		社会科学アカデミックス(ライティング)	1-3-4限	1								1
		社会科学アカデミックス(リーディング)	1-3-4限	1								1
		Academic Communication	2-3-4限	2								1
		国際関係論	2-3-4限	2								1
		科学技術社会論	2-3-4限	2								1
		名著講読（社会科学）	2-3-4限	1								1
		現代社会の教育課題	3-4限	2								1
	小計（ 19 科目）	-	0	35	0	0	0	0	0	0	0	17
	自然科学科目群	生物学入門	1-3-4限	2								1
		化学入門	1-3-4限	2								1
		環境科学	1-3-4限	2								1
		情報科学入門	1-3-4限	2								1
		データ処理	1-3-4限	2								1
		ネットワーク入門	1-3-4限	2								1
		マルチメディア表現	1-3-4限	2								1
		STEM入門（科学と社会）	1-2-3-4限	2		1						
		解析学入門	1-3-4限	2								1
		数学入門	1-3-4限	2								1
		代数学入門	1-3-4限	2								1
		物理学入門	1-3-4限	2			1					1
		科学入門	1-3-4限	2			2	1				1
		統計学入門	1-3-4限	2								1
		自然科学アカデミックス(ライティング)	1-3-4限	1								1
		自然科学アカデミックス(リーディング)	1-3-4限	1								1
		人工知能と社会	2-3-4限	2								1
		実践の物理学	2-3-4限	2								1
		宇宙科学	2-3-4限	2								1
		エネルギー科学	2-3-4限	2				1				
		地球科学	2-3-4限	2								1
		名著講読（自然科学）	2-3-4限	1								1
		小計（ 22 科目）	-	0	41	0	3	1	0	0	0	0

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	学 際 科 目 群	マクロ脳科学	1・2・4後		2							1
		ミクロ脳科学	1・2・4後		2							1
		マスメディアと社会	1・2・4後		2							1
		インターンシップ A	1・2・4後		2							1
		インターンシップ B	1・2・4後		2							1
		インターンシップ C	1・2・4後		1							1
		インターンシップ D	1・2・4後		1							1
		環境教育ワークショップ I	1・2・3・4後		2							1
		SAE(海外留学・研修)プログラム A	1・2・4後		1							1
		SAE(海外留学・研修)プログラム B	1・2・4後		1							1
		SAE(海外留学・研修)プログラム C	1・2・4後		2							1
		SAE(海外留学・研修)プログラム D	1・2・4後		2							1
		SAE(海外留学・研修)プログラム E	1・2・4後		3							1
		SAE(海外留学・研修)プログラム F	1・2・4後		3							1
		SAE(海外留学・研修)プログラム G	1・2・4後		4							1
		SAE(海外留学・研修)プログラム H	1・2・4後		4							1
		SAE(海外留学・研修)プログラム I	1・2・4後		5							1
		SAE(海外留学・研修)プログラム J	1・2・4後		5							1
		海外留学入門	1・2・3・4後		2							1
		国際研究 A	1・2・4後		2							1
		国際研究 B	1・2・4後		2							1
		国際研究 C	1・2・4後		2							1
		国際研究 D	1・2・4後		3							1
		国際研究 E	1・2・4後		4							1
		国際研究 F	1・2・4後		5							1
		情報倫理と社会	1・2・3・4後		2							1
		TAPファシリテーション I	1・2・3・4後		2							1
		TAPファシリテーション II	1・2・3・4後		2							1
		地域創生プロジェクト A	1・2・4後		1							1
		地域創生プロジェクト B	1・2・4後		1							1
		地域創生プロジェクト C	1・2・4後		2							1
		地域創生プロジェクト D	1・2・4後		2							1
		地域創生プロジェクト E	1・2・4後		3							1
		地域創生プロジェクト F	1・2・4後		3							1
		フィールドワーク A	1・2・4後		2							1
		フィールドワーク B	1・2・4後		2							1
		フィールドワーク C	1・2・4後		2							1
		健康スポーツ理論	1・2・4後		2							1
		生涯スポーツ演習	1・2・4後		2							1
		コーオプ・プログラム	2・3・4後		2							1
		野外教育	2・3・4後		2							1
		環境教育ワークショップ II	2・3・4後		2							1
		スポーツ史	2・3・4後		2							1
		Presentation Skills in English	2・3・4後		2							1
		複合領域研究 201～299	2・3・4後		2							1
		数理・データサイエンス・AIリテラシー	2・3・4後		2							1
		現代文化論	2・3・4後		2							1
		キャリア・マネジメント	3・4後		2							1
		病理学	3・4後		2							1
		Japan Studies Overseas A	3・4後		2							1
		Japan Studies Overseas B	3・4後		2							1
		Japan Studies Overseas C	3・4後		2							1
小計（ 52 科目）	-	0	118	0	0	0	0	0	0	20		

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	学 際 科 目 群	マクロ脳科学	1・2・4後		2							1	
		ミクロ脳科学	1・2・4後		2							1	
		マスメディアと社会	1・2・4後		2							1	
		キャリア実習 A	1・2・3・4後		2							1	
		キャリア実習 B	1・2・3・4後		2							1	
		キャリア実習 C	1・2・3・4後		1							1	
		キャリア実習 D	1・2・3・4後		1							1	
		インターンシップ A	1・2・3・4後		2							1	
		インターンシップ B	1・2・3・4後		2							1	
		インターンシップ C	1・2・3・4後		1							1	
		インターンシップ D	1・2・3・4後		1							1	
		SAE(海外留学・研修)プログラム A	1・2・3・4後		1								1
		SAE(海外留学・研修)プログラム B	1・2・3・4後		1								1
		SAE(海外留学・研修)プログラム C	1・2・3・4後		2								1
		SAE(海外留学・研修)プログラム D	1・2・3・4後		2								1
		SAE(海外留学・研修)プログラム E	1・2・3・4後		3								1
		SAE(海外留学・研修)プログラム F	1・2・3・4後		3								1
		SAE(海外留学・研修)プログラム G	1・2・3・4後		4								1
		SAE(海外留学・研修)プログラム H	1・2・3・4後		4								1
		SAE(海外留学・研修)プログラム I	1・2・3・4後		5								1
		SAE(海外留学・研修)プログラム J	1・2・3・4後		5								1
		海外留学入門	1・2・3・4後		2								1
		国際研究 A	1・2・3・4後		2								1
		国際研究 B	1・2・3・4後		2								1
		国際研究 C	1・2・3・4後		2								1
		国際研究 D	1・2・3・4後		3								1
		国際研究 E	1・2・3・4後		4								1
		国際研究 F	1・2・3・4後		5								1
		情報倫理と社会	1・2・3・4後		2								1
		TAPファシリテーション I	1・2・3・4後		2								1
		TAPファシリテーション II	1・2・3・4後		2								1
		地域創生プロジェクト A	1・2・3・4後		1								1
		地域創生プロジェクト B	1・2・3・4後		1								1
		地域創生プロジェクト C	1・2・3・4後		2								1
		地域創生プロジェクト D	1・2・3・4後		2								1
		地域創生プロジェクト E	1・2・3・4後		3								1
		地域創生プロジェクト F	1・2・3・4後		3								1
		フィールドワーク A	1・2・3・4後		2								1
		フィールドワーク B	1・2・3・4後		2								1
		フィールドワーク C	1・2・3・4後		2								1
		プレゼンテーションスキル	1・2・3・4後		2								1
		健康スポーツ理論	1・2・3・4後		2								1
		生涯スポーツ演習	1・2・3・4後		2								1
		学業アカデミックスキルズ（リーディング）	1・2・3・4後		1								1
		コーオプ・プログラム	2・3・4後		2								1
		野外教育	2・3・4後		2								1
		スポーツ史	2・3・4後		2								1
		Presentation Skills in English	2・3・4後		2								1
		複合領域研究 201～299	2・3・4後		2								1
		数理・データサイエンス・AIリテラシー	2・3・4後		2								1
		現代文化論	2・3・4後		2								1
		キャリア・マネジメント	3・4後		2								1
		栄養学	3・4後		2								1
		病理学	3・4後		2								1
		Japan Studies Overseas A	3・4後		2								1
		Japan Studies Overseas B	3・4後		2								1
		Japan Studies Overseas C	3・4後		2								1
		小計（ 57 科目）	-	0	125	0	0	0	0	0	0	0	27

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	言語表現科目群	ELF Introduction (A)	1・2・3・4年次	2								2	
		ELF Introduction (B)	1・2・3・4年次	2								2	
		ELF Introduction (C)	1・2・3・4年次	2								2	
		BELF 初級	1・2・3・4年次	2								2	
		ELF Communication for Teachers	1・2・3・4年次	2								1	
		ELF Foundation (A)	1・2・3・4年次	2								2	
		ELF Foundation (B)	1・2・3・4年次	2								2	
		ELF Foundation (C)	1・2・3・4年次	2								2	
		BELF 初中級	1・2・3・4年次	2								2	
		ELF & Global Communication (A)	1・2・3・4年次	2								1	
		ELF & Global Communication (B)	1・2・3・4年次	2								1	
		ELF Academic Literacy 中級	1・2・3・4年次	2								1	
		BELF 中級	1・2・3・4年次	2								1	
		ELF & Global Leadership (A)	1・2・3・4年次	2								1	
		ELF & Global Leadership (B)	1・2・3・4年次	2								1	
		ELF Academic Literacy 上級	1・2・3・4年次	2								1	
		BELF 上級	1・2・3・4年次	2								1	
		フランス語 101	1・2・3・4年次	2								1	
		フランス語 102	1・2・3・4年次	2								1	
		ドイツ語 101	1・2・3・4年次	2								1	
		ドイツ語 102	1・2・3・4年次	2								1	
									</				

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	言語表現科目群	ELF Introduction (A)	1・2・3・4年次		2								3
		ELF Introduction (B)	1・2・3・4年次		2								2
		ELF Introduction (C)	1・2・3・4年次		2								2
		BELF 初級	1・2・3・4年次		2								2
		ELF Communication for Teachers	1・2・3・4年次		2								1
		ELF Foundation (A)	1・2・3・4年次		2								2
		ELF Foundation (B)	1・2・3・4年次		2								2
		ELF Foundation (C)	1・2・3・4年次		2								2
		BELF 初中級	1・2・3・4年次		2								2
		ELF & Global Communication (A)	1・2・3・4年次		2								1
		ELF & Global Communication (B)	1・2・3・4年次		2								1
		ELF Academic Literacy 中級	1・2・3・4年次		2								1
		BELF 中級	1・2・3・4年次		2								1
		ELF & Global Leadership (A)	2・3・4年次		2								1
		ELF & Global Leadership (B)	1・2・3・4年次		2								1
		ELF Academic Literacy 上級	2・3・4年次		2								1
		BELF 上級	1・2・3・4年次		2								1
		フランス語 101	1・2・3・4年次		2								1
		フランス語 102	1・2・3・4年次		2								1
		ドイツ語 101	1・2・3・4年次		2								1
		ドイツ語 102	1・2・3・4年次		2								1
		スペイン語 101	1・2・3・4年次		2								1
		スペイン語 102	1・2・3・4年次		2								1
		日本語表現 101	1・2・3・4年次		2								1
		日本語表現 102	1・2・3・4年次		2								1
		中国語 101	1・2・3・4年次		2								1
		中国語 102	1・2・3・4年次		2								1
	小計（ 27 科目）		一	0	54	0	0	0	0	0	0	0	17
	資格関連科目群	生涯学習概論	1・2年次		2								1
		生涯学習と生涯教育	1・2年次		2								1
		情報メディアの活用	1・2年次		2								1
		学校経営と学校図書館	1・2年次		2								1
		学校図書館メディアの構成	1・2年次		2								1
		児童サービス論	1・2年次		2								1
		情報サービス論	1・2年次		2								1
		図書・図書館史	1・2年次		1								1
		図書館概論	1・2年次		2								1
		図書館サービス概論	1・2年次		2								1
		図書館施設論	1・2年次		1								1
		図書館情報技術論	1・2年次		2								1
		図書館情報資源概論	1・2年次		2								1
		図書館情報資源特論	1・2年次		1								1
		図書館制度・経営論	1・2年次		2								1
		社会教育課題研究	2・3年次		2								1
		社会教育経営論 A	2・3年次		2								1
		社会教育経営論 B	2・3年次		2								1
社会教育実習		2・3年次		2								1	
生涯学習支援論 A		2・3年次		2								1	
生涯学習支援論 B		2・3年次		2								1	
社会体育論		2・3年次		2								1	
日本語教育概論		2・3年次		2								1	
情報資源組織演習 A		2・3年次		1								1	
情報資源組織演習 B		2・3年次		1								1	
情報資源組織演習 C		2・3年次		2								1	
情報資源組織論		2・3年次		2								1	
読書と豊かな人間性		2・3年次		2								1	
博物館概論		2・3年次		2								1	
博物館教育論		2・3年次		2								1	
博物館経営論		2・3年次		2								1	
博物館情報・メディア論		2・3年次		2								1	
博物館資料保存論		2・3年次		2								1	
博物館資料論		2・3年次		2								1	
博物館展示論		2・3年次		2								1	
学習指導と学校図書館		3・4年次		2								1	
情報サービス演習 A		3・4年次		1								1	
情報サービス演習 B		3・4年次		1								1	
情報サービス演習 C		3・4年次		2								1	
博物館実習	3・4年次		3								1		
小計（ 40 科目）		一	0	74	0	0	0	0	0	0	0	15	

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目 目 群	1 0 0 番 台 科 目	デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)	1前	2			5	2	1			1
		デザインサイエンス演習(デザインを含む)	1後	2					1			2
		数学演習	1後		2							1
		代数学I	1後・2前	2								1
		解析学I	1後・2前	2								1
		物理学I	1後・2前		2			1				
		プログラミングI	1後・2前		2			1	1			
		デザインサイエンス プログラミング	1後	2					1			
		小計(8 科目)	一	8	8	0	5	2	1	0	0	6
	2 0 0 番 台 科 目	微分方程式I	2前		2							1
		確率統計学I	2前		2							1
		解析学II	2前・後		2							1
		物理学IIA	2前・後		2		1					
		物理学IIB	2前・後		2			1				
		プログラミングII	2・3前		2		1					
		デジタルシズンシップ	2前	2								1
		デジタルファブ리케이션入門	2前	2				1	1			
		デザインサイエンス実験	2前・後	1			2		1			
		スケッチとドローイング	2前・後	1			1					
		色彩デザイン学	2前		2							1
		管理技法	2前		2		1					
		機構デザイン	2前		2		1					
		数学科指導法I	2前		2							1
		工業科指導法I	2前		2							1
		技術科指導法I	2前		2							1
		確率統計学II	2後		2							1
		幾何学I	2後		2							1
		デジタルファブ리케이션	2後		2			1	1			
		メカニクス(材料)	2後	2			1					
		人間工学	2後		2		1					
		原価計算	2後		2		1					
		電気回路基礎	2後		2			1				
		化学と環境	2後		2		1					
		数学科指導法II	2後		2							1
		工業科指導法II	2後		2							1
		技術科指導法II	2後		2							1
		小計(27 科目)	一	8	44	0	5	2	1	0	0	9

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 科目 目 群	1 0 0 番 台 科 目	デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)	1前	2				6	2	2			1
		デザインサイエンス演習(デザインを含む)	1後	2						1			2
		数学演習	1後		2								1
		代数学I	1後・2前	2									1
		解析学I	1後・2前	2									1
		物理学I	1後・2前		2			1					2
		プログラミングI	1後・2前		2			1					
		デザインサイエンス プログラミング	1後	2					1				
		小計(8 科目)	一	8	8	0	6	2	2	0	0	0	7
	2 0 0 番 台 科 目	微分方程式I	2前		2								1
		確率統計学I	2前		2								1
		解析学II	2前・後		2								1
		物理学IIA	2前・後		2		1						
		物理学IIB	2前・後		2			1					
		プログラミングII	2・3前		2		1						
		デザインシンキング	2前	2			1						
		デザインリレーション入門	2前	2			1	1	1				
		デザインサイエンス実験	2前・後	1			2		2				
		スケッチとドローイング	2前・後	1			1		1				
		色彩デザイン学	2前		2								1
		管理技法	2前		2		1						
		機構デザイン	2前		2		1						
		数学科指導法I	2前		2								1
		工業科指導法I	2前		2								1
		技術科指導法I	2前		2								1
		確率統計学II	2後		2								1
		幾何学I	2後		2								1
		デザインリレーション	2後		2			1	1				
		メカニクス(材料)	2後	2			1		1				
		人間工学	2後		2		1						
		原価計算	2後		2		1						
		電気回路基礎	2後		2			1					
		化学と環境	2後		2				1				
		数学科指導法II	2後		2								1
		工業科指導法II	2後		2								1
		技術科指導法II	2後		2								1
		小計(27 科目)	一	8	44	0	6	2	2	0	0	0	7

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目群	3 0 0 番 台 科 目	データサイエンスI	3前		2							1
		20世紀の物理学	3前		2			1				
		代数学II	3前		2							1
		知的財産権の基礎	3前		2		1					
		メカニクス(機械)	3前		2		1					
		メカニクス(流体)	3前		2							1
		栽培	3前		2							1
		工学倫理	3前		1		1					
		ユニバーサルデザイン	3前		2		1					
		起業プランニング	3前		2		1					
		金属加工実習	3前		2		1		1			
		ドローテック応用	3前		1		1					
		バイオメテックス	3前		2		1					
		自然科学実験	3前		1		2	1				
		ソフトウェア	3前		2			1				
		数学科指導法III	3前		2							1
		職業指導(工業)I	3前		2							1
		技術科指導法III	3前		2							1
		デジタルファブリケーション演習	3後		2			1	1			
		データサイエンスセミナーI	3後	2			5	2	1			
		メカニクス(材料)演習	3後		1		1					
		デザイン思考	3後		2							1
		木材加工	3後		2							1
		海外研修	3後		2			1				
		インターシップⅠ	3前・後		1		5	2	1			
		インターシップⅡ	3前・後		1		5	2	1			
		インターシップⅢ	3前・後		1		5	2	1			
		インターシップⅣ	3前・後		1		5	2	1			
		プロダクトデザイン	3後		2		2					
		デザインと経営	3後		2		1					
	管理会計	3後		2		1						
	ロボティクス	3後		2		1						
	ロボティクス演習	3後		2		1						
	モデリングとシミュレーション	3後		2							1	
	マテリアルプロセス	3後		2		1						
	都市環境デザイン	3後		2							1	
	電気回路演習	3後		1			1					
	デジタル生産加工	3後		2							1	
	数学科指導法Ⅳ	3後		2							1	
	職業指導(工業)Ⅱ	3後		2							1	
	技術科指導法Ⅳ	3後		2							1	
	小計(41 科目)		—	2	71	0	5	2	1	0	0	11
4 0 0 番 台 科 目	幾何学Ⅱ	4前		2							1	
	データサイエンスセミナーⅡ	4前	2			5	2	1				
	卒業プロジェクトⅠ	4前	2			5	2	1				
	卒業プロジェクトⅡ	4後	2			5	2	1				
	小計(4 科目)	—	6	2	0	5	2	1	0	0	1	

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目群	3 0 0 番 台 科 目	データサイエンスI	3前		2							1
		20世紀の物理学	3前		2			1				
		代数学II	3前		2							1
		知的財産権の基礎	3前		2		1					
		メカニクス(機械)	3前		2		1					
		メカニクス(流体)	3前		2							1
		栽培	3前		2							1
		工学倫理	3前		1		1					
		ユニバーサルデザイン	3前		2		1					
		起業プランニング	3前		2		1					
		金属加工実習	3前		2		1		1			
		ドローテック応用	3前		1		1					
		バイオメテックス	3前		2		1					
		自然科学実験	3前		1		2	1				
		ソフトウェア	3前		2			1				
		数学科指導法III	3前		2							1
		職業指導(工業)I	3前		2							1
		技術科指導法III	3前		2							1
		デジタルファブリケーション演習	3後		2			1	1			
		データサイエンスセミナーI	3後	2			5	2	1			
		メカニクス(材料)演習	3後		1		1					
		デザイン思考	3後		2							1
		木材加工	3後		2							1
		海外研修	3後		2			1				
		インターシップ I	3前・後		1		5	2	1			
		インターシップ II	3前・後		1		5	2	1			
		インターシップ III	3前・後		1		5	2	1			
		インターシップ IV	3前・後		1		5	2	1			
	プロダクトデザイン	3後		2		2						
	デザインと経営	3後		2		1						
	管理会計	3後		2		1						
	ロボティクス	3後		2		1						
	ロボティクス演習	3後		2		1						
	モデリングとシミュレーション	3後		2							1	
	マテリアルプロセス	3後		2		1						
	都市環境デザイン	3後		2							1	
	電気回路演習	3後		1			1					
	デジタル生産加工	3後		2							1	
	数学科指導法IV	3後		2							1	
	職業指導(工業)II	3後		2							1	
	技術科指導法IV	3後		2							1	
	小計(41 科目)		—	2	71	0	5	2	1	0	0	11
4 0 0 番 台 科 目	幾何学II	4前		2							1	
	データサイエンスセミナーII	4前	2			5	2	1				
	卒業プロジェクトI	4前	2			5	2	1				
	卒業プロジェクトII	4後	2			5	2	1				
	小計(4 科目)	—	6	2	0	5	2	1	0	0	1	

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教 職 関 連 科 目 群	教育原理	1前・後	2								1
	教育哲学	1・2・3後	2								1
	教職概論	1前・後	2								1
	教育の制度と経営	1・2前・後	2								1
	教育社会学	1・2・3後	2								1
	学習・発達論	1・2前・後	2								1
	教育心理学	1・2・3後	2								1
	発達心理学	1・2・3後	2								1
	特別支援教育	2・3前・後	1								1
	教育課程編成論	3前・後	2								1
	道徳教育の理論と方法	3前・後	2								1
	総合的な学習の時間の理論と方法	1・2前・後	1								1
	特別活動の理論と方法	2・3前・後	1								1
	教育方法・技術論	1・2前・後	1								1
	ICT活用の理論と実践	1・2前・後	1								1
	生徒・進路指導の理論と方法	3前・後	2								1
	教育相談の理論と方法	3前	2								1
	教育実習(中・高)	3前～4前	5			1					
	教育実習(高等学校)	3前～4前	3			1					
	教育実習(副)	4前～後	3								1
	教職実践演習	4後	2			1					
	異文化理解と教育	2・3・4前・後	2								1
	生命と性の教育	2・3・4前	2								1
	精神保健	2・3・4前	2								1
	教職演習 A	3後・4前	1								1
	教職演習 B	4後	1								1
	教育インターンシップ ^o A	1・2・3・4前・後	2			1					
	教育インターンシップ ^o B	1・2・3・4前・後	2								1
教育インターンシップ ^o C	1・2・3・4前・後	1								1	
教育インターンシップ ^o D	1・2・3・4前・後	1								1	
日本国憲法	1前・後	2								1	
体育	1・2後	1								1	
小計(32 科目)	—	0	59	0	1	0	0	0	0	20	
合計(309 科目)		-	31	567	0	5	2	1	0	0	124
卒業要件及び履修方法											
①修業年限を満たすこと											
②全科目の修得単位の合計が124単位以上であること											
③卒業時における累積GPAが2.00以上であること											
④ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み7単位以上を修得していること											
⑤ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群・学際科目群から各2単位以上、言語表現科目群のうち、必修選択科目(ELF)から4単位以上を修得し、合計18単位以上を修得していること											
⑥デザインサイエンス学科科目のうち、必修科目24単位を含み、62単位以上を修得していること											
(履修科目の登録の上限:16単位(1学期))											

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教 職 関 連 科 目 群	教育原理	1前・後		2							1	
	教育哲学	1・2・3後		2							1	
	教職概論	1前・後		2							1	
	教育の制度と経営	1・2前・後		2							1	
	教育社会学	1・2・3後		2							1	
	学習・発達論	1・2前・後		2							1	
	教育心理学	1・2・3後		2							1	
	発達心理学	1・2・3後		2							1	
	特別支援教育	2・3前・後		1							1	
	教育課程編成論	3前・後		2							1	
	道徳教育の理論と方法	1・2・3後		2							1	
	総合的な学習の時間の理論と方法	1・2前・後		1							1	
	特別活動の理論と方法	2・3前・後		1							1	
	教育方法・技術論	1・2前・後		1							1	
	ICT活用の理論と実践	1・2前・後		1							1	
	生徒・進路指導の理論と方法	3前・後		2							1	
	教育相談の理論と方法	3前		2							1	
	教育実習 (中学校・高等学校)	1前・1後		3		1						
	教育実習 (高等学校)	3前～4前		3		1						
	教育実習 (副)	4前～後		3							1	
	学校体験活動 A (中学校・高等学校)	1前・1後		1		1						
	学校体験活動 B (中学校・高等学校)	1前・1後		1		1						
	学校体験活動 C (中学校・高等学校)	1・1前・1後		1		1						
	学校体験活動 D (中学校・高等学校)	1・1前・1後		1		1						
	教職実践演習	4後		2		1						
	異文化理解と教育	2・3・4前・後		2							1	
	生命と性の教育	2・3・4前		2							1	
	精神保健	2・3・4前		2							1	
	教職演習 A	3後・4前		1							1	
	教職演習 B	4後		1							1	
	教育インターンシップ ^① A	1・1前・1後・2前		2		1						
	教育インターンシップ ^② B	1・1前・1後・2前		2		1						
	教育インターンシップ ^③ C	1・1前・1後・2前		1		1						
	教育インターンシップ ^④ D	1・1前・1後・2前		1		1						
	介護等体験	2前・1後		2		1						
	日本国憲法	1前・1後		2							1	
	体育	1・2後		1							1	
小計(37 科目)	—	0	63	0	2	0	0	0	0	20		
合計(328 科目)	-	31	594	0	6	2	2			143		
卒業要件及び履修方法												
①修業年限を満たすこと ②全科目の修得単位の合計が124単位以上であること ③卒業時における累積GPAが2.00以上であること ④ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み7単位以上を修得していること ⑤ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群・学際科目群から各2単位以上、言語表現科目群のうち、必修選択科目(ELF)から4単位以上を修得し、合計18単位以上を修得していること ⑥デザインサイエンス学科科目のうち、必修科目24単位を含み、62単位以上を修得していること (履修科目の登録の上限:16単位(1学期))												

【令和5年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	玉川教育・FYE科目群	一年次 semester 101	1前	2			1	1			
	玉川教育・FYE科目群	一年次 semester 102	1後	2			1	1			
	玉川教育・FYE科目群	玉川の教育	1後	0.3		1		1			
	玉川教育・FYE科目群	健康教育	1前	1							1
	玉川教育・FYE科目群	音楽 I	1前	0.7							1
	玉川教育・FYE科目群	音楽 II	1後	1							1
	玉川教育・FYE科目群	全人教育論	2前・後	2							1
	玉川教育・FYE科目群	ビジュアル・ラーニング	2前・後	2							1
	玉川教育・FYE科目群	二年次 semester 201	2前	2							1
	玉川教育・FYE科目群	二年次 semester 202	2後	2							1
	玉川教育・FYE科目群	玉川の行事・式典 A	2・3・4前	2							1
	玉川教育・FYE科目群	玉川の行事・式典 B	2・3・4前	2							1
	玉川教育・FYE科目群	玉川の行事・式典 C	2・3・4前	2							1
	玉川教育・FYE科目群	三年次 semester 301	3前	2							1
	玉川教育・FYE科目群	三年次 semester 302	3後	2							1
	玉川教育・FYE科目群	小計 (15 科目)	-	7	18	0	1	1	1	0	7
	人文科学科目群	文化人類学	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	民俗学入門	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	美術史	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	ことばと文化	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	比較文化論	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	英語学	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	歴史 (世界)	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	歴史 (日本)	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	日本文学	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	日本学入門	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	日本語学	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	音楽史	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	哲学	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	倫理学	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	ロジック	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	宗教学	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	世界の宗教と文化	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	演劇史	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	人文科学7分野ミックスⅠ (ライティング)	1・2・3・4前	1							1
	人文科学科目群	人文科学7分野ミックスⅡ (リーディング)	1・2・3・4前	1							1
	人文科学科目群	外国文学	1・2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	科学史	2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	科学史	2・3・4前	2							1
	人文科学科目群	名著講読 (人文科学)	2・3・4前	1							1
	人文科学科目群	Modern Japanese History	3・4前	2							1
	人文科学科目群	Japanese Pop Culture	3・4後	2							1
	人文科学科目群	Japanology	3・4前	2							1
	人文科学科目群	言語心理学	3・4前	2							1
	人文科学科目群	East Asian History	4前	2							1
	人文科学科目群	Issues in Japanese Studies A	4前	2							1
	人文科学科目群	Issues in Japanese Studies B	4後	2							1
	人文科学科目群	小計 (31 科目)		0	59	0	0	0	0	0	26

【令和5年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	社会科学科目群	会計学	1・2・3・4年		2								1
		経営学	1・2・3・4年		2								1
		マーケティング	1・2・3・4年		2								1
		コミュニケーション論	1・2・3・4年		2								1
		経済学（国際経済を含む。）	1・2・3・4年		2								1
		ボランティア概論	1・2・3・4年		2								1
		市民社会と法	1・2・3・4年		2								1
		政治学（国際政治を含む。）	1・2・3・4年		2								1
		ポリティカル・サイエンス	1・2・3・4年		2								1
		心理学	1・2・3・4年		2								1
		社会学	1・2・3・4年		2								1
		観光学入門	1・2・3・4年		2								1
		社会科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1・2・3・4年		1								1
		社会科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1・2・3・4年		1								1
		Academic Communication	2・3・4年		2								1
		国際関係論	2・3・4年		2								1
		科学技術社会論	2・3・4年		2								1
		名著講読（社会科学）	2・3・4年		1								1
		現代社会の教育課題	3・4年・5年		2								1
	小計（ 19 科目）	-	0	35	0	0	0	0	0	0	0	18	
	自然科学科目群	生物学入門	1・2・3・4年		2								1
		化学入門	1・2・3・4年		2								1
		環境科学	1・2・3・4年		2								1
		情報科学入門	1・2・3・4年		2								1
		データ処理	1・2・3・4年		2								1
		ネットワーク入門	1・2・3・4年		2								1
		マーケティング表現	1・2・3・4年		2								1
		STEM入門（科学と社会）	1・2・3・4年		2		1						
		解析学入門	1・2・3・4年		2								1
		数学入門	1・2・3・4年		2								1
		代数学入門	1・2・3・4年		2								1
		物理学入門	1・2・3・4年		2		1						1
		科学入門	1・2・3・4年		2		2	1					1
		統計学入門	1・2・3・4年		2								1
		自然科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1・2・3・4年		1								1
		自然科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1・2・3・4年		1								1
		人工知能と社会	2・3・4年		2								1
		実践の物理学	2・3・4年		2								1
		宇宙科学	2・3・4年・5年		2								1
		エネルギー科学	2・3・4年		2			1					
		地球科学	2・3・4年・5年		2								1
		名著講読（自然科学）	2・3・4年・5年		1								1
		小計（ 22 科目）	-	0	41	0	3	1	0	0	0	0	17

【令和5年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
ユニ バー シテイ・ス タนด์ タ ン ダ ー ド 科 目 群 （全 学 共 通 科 目）	マイクロ脳科学	1・2・3・4後		2							1
	ミクロ脳科学	1・2・3・4後		2							1
	マスメディアと社会	1・2・3・4後		2							1
	インターンシップ A	1・2・3・4後		2							1
	インターンシップ B	1・2・3・4後		2							1
	インターンシップ C	1・2・3・4後		1							1
	インターンシップ D	1・2・3・4後		1							1
	SAE(海外留学・研修)プログラムA	1・2・3・4後		1							1
	SAE(海外留学・研修)プログラムB	1・2・3・4後		1							1
	SAE(海外留学・研修)プログラムC	1・2・3・4後		2							1
	SAE(海外留学・研修)プログラムD	1・2・3・4後		2							1
	SAE(海外留学・研修)プログラムE	1・2・3・4後		3							1
	SAE(海外留学・研修)プログラムF	1・2・3・4後		3							1
	SAE(海外留学・研修)プログラムG	1・2・3・4後		4							1
	SAE(海外留学・研修)プログラムH	1・2・3・4後		4							1
	SAE(海外留学・研修)プログラムI	1・2・3・4後		5							1
	SAE(海外留学・研修)プログラムJ	1・2・3・4後		5							1
	海外留学入門	1・2・3・4後		2							1
	国際研究 A	1・2・3・4後		2							1
	国際研究 B	1・2・3・4後		2							1
	国際研究 C	1・2・3・4後		2							1
	国際研究 D	1・2・3・4後		3							1
	国際研究 E	1・2・3・4後		4							1
	国際研究 F	1・2・3・4後		5							1
	情報倫理と社会	1・2・3・4後		2							1
	TAPファシリテーション I	1・2・3・4後		2							1
	TAPファシリテーション II	1・2・3・4後		2							1
	地域創生プロジェクト A	1・2・3・4後		1							1
	地域創生プロジェクト B	1・2・3・4後		1							1
	地域創生プロジェクト C	1・2・3・4後		2							1
	地域創生プロジェクト D	1・2・3・4後		2							1
	地域創生プロジェクト E	1・2・3・4後		3							1
	地域創生プロジェクト F	1・2・3・4後		3							1
	フィールドワーク A	1・2・3・4後		2							1
	フィールドワーク B	1・2・3・4後		2							1
	フィールドワーク C	1・2・3・4後		2							1
	プレゼンテーションスキル	1・2・3・4後		2							1
	健康スポーツ理論	1・2・3・4後		2							1
	生涯スポーツ演習	1・2・3・4後		2							1
	学園アカデミックス（リーディング）	1・2・3・4後		1							1
	コーオプ・プログラム	2・3・4後		2							1
	野外教育	2・3・4後		2							1
	スポーツ史	2・3・4後		2							1
	Presentation Skills in English	2・3・4後		2							1
	複合領域研究 201～299	2・3・4後		2							1
	数理・データサイエンス・AIリテラシー	2・3・4後		2							1
	現代文化論	2・3・4後		2							1
	キャリア・マネジメント	3・4後		2							1
	栄養学	3・4後		2							1
	病理学	3・4後		2							1
	Japan Studies Overseas A	3・4後		2							1
	Japan Studies Overseas B	3・4後		2							1
	Japan Studies Overseas C	3・4後		2							1
	小計（53 科目）	-	0	119	0	0	0	0	0	0	22

【令和5年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
言語表現科目群	ELF Introduction (A)	1・2・3・4回		2								3
	ELF Introduction (B)	1回・2・4回		2								2
	ELF Introduction (C)	1・2・3・4回		2								2
	BELF 初級	1回・2・4回		2								2
	ELF Communication for Teachers	1・2・3・4回		2								1
	ELF Foundation (A)	1・2・3・4回		2								2
	ELF Foundation (B)	1回・2・4回		2								2
	ELF Foundation (C)	1・2・3・4回		2								2
	BELF 初中級	1回・2・4回		2								2
	ELF & Global Communication (A)	1・2・3・4回		2								1
	ELF & Global Communication (B)	1・2・3・4回		2								1
	ELF Academic Literacy 中級	1・2・3・4回		2								1
	BELF 中級	1回・2・4回		2								1
	ELF & Global Leadership (A)	2・3・4回		2								1
	ELF & Global Leadership (B)	1・2・3・4回		2								1
	ELF Academic Literacy 上級	2・3・4回		2								1
	BELF 上級	1・2・3・4回		2								1
	フランス語 101	1・2・3・4回		2								1
	フランス語 102	1・2・3・4回		2								1
	ドイツ語 101	1・2・3・4回		2								1
	ドイツ語 102	1・2・3・4回		2								1
	日本語表現 101	1・2・3・4回		2								1
	日本語表現 102	1・2・3・4回		2								1
	中国語 101	1・2・3・4回		2								1
	中国語 102	1・2・3・4回		2								1
	小計(25 科目)			一	0	50	0	0	0	0	0	0
ユニバーシティ・スタンダード科目群 (全学共通科目)	資格関連科目群	生涯学習概論	1・2前		2							1
	生涯学習と生涯教育	1・2後		2								1
	情報メディアの活用	1・2前・後		2								1
	学校経営と学校図書館	1・2前		2								1
	学校図書館メディアの構成	1・2前		2								1
	児童サービス論	1・2後		2								1
	情報サービス論	1・2後		2								1
	図書・図書館史	1・2前		1								1
	図書館概論	1・2前		2								1
	図書館サービス概論	1・2後		2								1
	図書館施設論	1・2後		1								1
	図書館情報技術論	1・2後		2								1
	図書館情報資源概論	1・2後		2								1
	図書館情報資源特論	1・2前		1								1
	図書館制度・経営論	1・2前		2								1
	社会教育課題研究	2・3前		2								1
	社会教育経営論 A	2・3後		2								1
	社会教育経営論 B	2・3前		2								1
	社会教育実習	2・3後		2								1
	生涯学習支援論 A	2・3後		2								1
	生涯学習支援論 B	2・3前		2								1
	社会体育論	2・3前		2								1
	日本語教育概論	2・3前		2								1
	情報資源組織演習 A	2・3後		1								1
	情報資源組織演習 B	2・3後		1								1
	情報資源組織演習 C	2・3後		2								1
	情報資源組織論	2・3前		2								1
	読書と豊かな人間性	2・3後		2								1
	博物館概論	2・3前		2								1
	博物館教育論	2・3後		2								1
	博物館経営論	2・3後		2								1
	博物館情報・メディア論	2・3後		2								1
	博物館資料保存論	2・3前		2								1
	博物館資料論	2・3後		2								1
博物館展示論	2・3前		2								1	
学習指導と学校図書館	3・4前		2								1	
情報サービス演習 A	3・4前		1								1	
情報サービス演習 B	3・4前		1								1	
情報サービス演習 C	3・4前		2								1	
博物館実習	3・4回・後		3								1	
小計(40 科目)			一	0	74	0	0	0	0	0	0	16

【令和5年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 科目 群	100番台科目											
	デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)	1前	2			5	2	1				1
	デザインサイエンス演習(デザインを含む)	1後	2					1				2
	数学演習	1後		2								1
	代数学I	1後・2前	2									1
	解析学I	1後・2前	2									1
	物理学I	1後・2前		2			1					
	プログラミングⅠ	1後・2前		2			1					
	デザインサイエンスプログラミング	1後	2					1				
	小計(8科目)	一	8	8	0	5	2	1	0	0		6
	200番台科目											
	微分方程式I	2前		2								1
	確率統計学I	2前		2								1
	解析学II	2前・後		2								1
	物理学IIA	2前・後		2		1						
	物理学IIB	2前・後		2			1					
	プログラミングII	2・3前		2		1						
	デジタルシミュレーション	2前	2									1
	デジタルファブリケーション入門	2前	2				1	1				
	デザインサイエンス実験	2前・後	1			2		1				
	スケッチとドローイング	2前・後	1			1						
	色彩デザイン学	2前		2								1
	管理技法	2前		2		1						
	機構デザイン	2前		2		1						
	数学科指導法I	2前		2								1
	工業科指導法I	2前		2								1
	技術科指導法I	2前		2								1
	確率統計学II	2後		2								1
	幾何学I	2後		2								1
	デジタルファブリケーション	2後		2			1	1				
	メカニクス(材料)	2後	2			1						
	人間工学	2後		2		1						
	原価計算	2後		2		1						
	電気回路基礎	2後		2			1					
	化学と環境	2後		2		1						
	数学科指導法II	2後		2								1
	工業科指導法II	2後		2								1
	技術科指導法II	2後		2								1
	小計(27科目)	一	8	44	0	5	2	1	0	0		9

【令和5年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目群	3 0 0 番 台 科 目	データサイエンスI	3前		2							1
		20世紀の物理学	3前		2			1				
		代数学II	3前		2							1
		知的財産権の基礎	3前		2		1					
		メカニクス(機械)	3前		2		1					
		メカニクス(流体)	3前		2							1
		栽培	3前		2							1
		工学倫理	3前		1		1					
		ユニバーサルデザイン	3前		2		1					
		起業プランニング	3前		2		1					
		金属加工実習	3前		2		1		1			
		ドラフティング応用	3前		1		1					
		バイオミメティクス	3前		2		1					
		自然科学実験	3前		1		2	1				
		ソフトウェア	3前		2			1				
		数学科指導法III	3前		2							1
		職業指導(工業)I	3前		2							1
		技術科指導法III	3前		2							1
		デジタルファブリケーション演習	3後		2			1	1			
		データサイエンスセミナーI	3後	2			5	2	1			
		メカニクス(材料)演習	3後		1		1					
		データ思考	3後		2							1
		木材加工	3後		2							1
		海外研修	3後		2			1				
		インターシップⅠ	3前・後		1		5	2	1			
		インターシップⅡ	3前・後		1		5	2	1			
		インターシップⅢ	3前・後		1		5	2	1			
		インターシップⅣ	3前・後		1		5	2	1			
		プロダクトデザイン	3後		2		2					
		データインと経営	3後		2		1					
	管理会計	3後		2		1						
	マトロニクス	3後		2		1						
	マトロニクス演習	3後		2		1						
	モデリングとシミュレーション	3後		2							1	
	マテリアル・ロセッシング	3後		2		1						
	都市環境デザイン	3後		2							1	
	電気回路演習	3後		1			1					
	デジタル生産加工	3後		2							1	
	数学科指導法Ⅳ	3後		2							1	
	職業指導(工業)Ⅱ	3後		2							1	
	技術科指導法Ⅳ	3後		2							1	
	小計(41科目)	—	2	71	0	5	2	1	0	0	11	
4 0 0 番 台 科 目	幾何学Ⅱ	4前		2						1		
	データサイエンスセミナーⅡ	4前	2			5	2	1				
	卒業プロジェクトⅠ	4前	2			5	2	1				
	卒業プロジェクトⅡ	4後	2			5	2	1				
	小計(4科目)	—	6	2	0	5	2	1	0	0	1	

【令和5年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教 職 関 連 科 目 群	教育原理	1前・後	2									1
	教育哲学	1・2・3後	2									1
	教職概論	1前・後	2									1
	教育の制度と経営	1・2前・後	2									1
	教育社会学	1・2・3前	2									1
	学習・発達論	1・2前・後	2									1
	教育心理学	1・2・3後	2									1
	発達心理学	1・2・3前	2									1
	特別支援教育	2・3前・後	1									1
	教育課程編成論	3前・後	2									1
	道徳教育の理論と方法	3前・後	2									1
	総合的な学習の時間の理論と方法	1・2前・後	1									1
	特別活動の理論と方法	2・3前・後	1									1
	教育方法・技術論	1・2前・後	1									1
	ICT活用の理論と実践	1・2前・後	1									1
	生徒・進路指導の理論と方法	3前・後	2									1
	教育相談の理論と方法	3前	2									1
	教育実習(中・高)	3前～4前	5			1						
	教育実習(高等学校)	3前～4前	3			1						
	教育実習(副)	4前～後	3									1
	教職実践演習	4後	2			1						
	異文化理解と教育	2・3・4前・後	2									1
	生命と性の教育	2・3・4前	2									1
	精神保健	2・3・4前	2									1
	教職演習 A	3前・4前	1									1
	教職演習 B	4後	1									1
	教育インターシッヅ A	1・3・4前・後	2			1						
	教育インターシッヅ B	1・3・4前・後	2									1
	教育インターシッヅ C	1・3・4前・後	1									1
	教育インターシッヅ D	1・3・4前・後	1									1
	日本国憲法	1前・後	2									1
	体育	1・2後	1									1
	小計(32 科目)	—	0	59	0	1	0	0	0	0	0	20
合計(317 科目)			—	31	580	0	5	2	1	0	0	140
卒業要件及び履修方法												
①修業年限を満たすこと ②全科目の修得単位の合計が124単位以上であること ③卒業時における累積GPAが2.00以上であること ④ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み7単位以上を修得していること ⑤ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群・学際科目群から各2単位以上、言語表現科目群のうち、必修選択科目(ELF)から4単位以上を修得し、合計18単位以上を修得していること ⑥デザインサイエンス学科科目のうち、必修科目24単位を含み、62単位以上を修得していること (履修科目の登録の上限:16単位(1学期))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例: 記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度(旧)】→【令和5年度(旧)】

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

＜ユニバーシティ・スタンダード科目群(US)(全学共通科目)＞	
○玉川教育・FYE科目群	「玉川の教育」:教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、担当者が「准教授1、講師1」から「教授1、講師1」に変更 「玉川の行事・式典 A」:カリキュラム改編により科目追加 「玉川の行事・式典 B」:カリキュラム改編により科目追加 「玉川の行事・式典 C」:カリキュラム改編により科目追加
○人文科学科目群	「言語心理学」:カリキュラム改編により科目追加
○社会科学科目群	「社会科学アカデミックスキルズ(ライティング)」:カリキュラム改編により科目追加 「社会科学アカデミックスキルズ(リーディング)」:カリキュラム改編により科目追加
○自然科学科目群	「STEM入門(科学と社会)」:教育内容の充実を図るため、担当者が「兼任・兼任1」から「教授1」に変更
○学際科目群	「環境教育ワークショップⅠ」:カリキュラム改編により科目削除 「プレゼンテーションスキル」:カリキュラム改編により科目追加 「学際アカデミックスキルズ(リーディング)」:カリキュラム改編により科目追加 「環境教育ワークショップⅡ」:カリキュラム改編により科目削除 「栄養学」:カリキュラム改編により科目追加
○言語表現科目群	「ELF Introduction(A)」:教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、担当者が「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更 「ELF & Global Leadership(A)」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前」から「2・3・4前」に変更 「ELF Academic Literacy 上級」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前」から「2・3・4前」に変更
○資格関連科目群	「日本語教育概論」:カリキュラム改編により科目追加
＜専門科目群＞	
○100番台科目群	「プログラミング」:受講者数との関係による開講クラス減に伴い、担当者が「准教授1、講師1」から「准教授1」に変更

【令和6年度】

＜ユニバーシティ・スタンダード科目群(US)(全学共通科目)＞	
○玉川教育・FYE科目群	「一年次セミナー 101」:教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、担当者が「准教授1・講師1」から「講師2」に変更 「一年次セミナー 102」:教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、担当者が「准教授1・講師1」から「講師2」に変更 「玉川の教育」:教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、担当者が「教授1・講師1」から「講師2」に変更 「玉川の行事・式典 A」:教育効果を高めるため、配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前・後」に変更 「玉川の行事・式典 B」:教育効果を高めるため、配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前・後」に変更 「玉川の行事・式典 C」:教育効果を高めるため、配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前・後」に変更
○学際科目群	「キャリア実習 A」:カリキュラム改編により科目追加 「キャリア実習 B」:カリキュラム改編により科目追加 「キャリア実習 C」:カリキュラム改編により科目追加 「キャリア実習 D」:カリキュラム改編により科目追加 「インターンシップ A」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「3・4前・後」に変更 「インターンシップ B」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「3・4前・後」に変更 「インターンシップ C」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「3・4前・後」に変更 「インターンシップ D」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「3・4前・後」に変更 「SAE(海外留学・研修)プログラム A」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1後・2・3・4前・後」に変更 「SAE(海外留学・研修)プログラム B」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1後・2・3・4前・後」に変更 「SAE(海外留学・研修)プログラム C」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1後・2・3・4前・後」に変更 「SAE(海外留学・研修)プログラム D」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1後・2・3・4前・後」に変更 「SAE(海外留学・研修)プログラム E」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1後・2・3・4前・後」に変更 「SAE(海外留学・研修)プログラム F」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1後・2・3・4前・後」に変更 「SAE(海外留学・研修)プログラム G」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1後・2・3・4前・後」に変更 「SAE(海外留学・研修)プログラム H」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1後・2・3・4前・後」に変更 「SAE(海外留学・研修)プログラム I」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1後・2・3・4前・後」に変更 「SAE(海外留学・研修)プログラム J」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1後・2・3・4前・後」に変更 「情報倫理と社会」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・後」に変更 「学際アカデミックスキルズ(リーディング)」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・後」に変更
○言語表現科目群	「スペイン語 101」:カリキュラム改編により科目追加 「スペイン語 102」:カリキュラム改編により科目追加
＜専門科目群＞	
○100番台科目群	「デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)」:専任教員の新規採用に伴い、担当者が「教授5・准教授2・講師1・兼任・兼任1」から「教授6・准教授2・講師2・兼任・兼任1」に変更 「物理学Ⅰ」:教育体制の充実を図るために伴い、担当者が「准教授1」から「准教授1・兼任・兼任2」に変更
○200番台科目群	「デジタルリテラシー」:専任教員の新規採用に伴い、担当者が「兼任・兼任1」から「教授1」に変更 「デジタルファブリケーション入門」:専任教員の新規採用に伴い、担当者が「准教授1・講師1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更 「デザインサイエンス実験」:専任教員の新規採用に伴い、担当者が「教授2・講師1」から「教授2・講師2」に変更 「スケッチとドラフティング」:専任教員の新規採用に伴い、担当者が「教授1」から「教授1・講師1」に変更 「メカニクス(材料)」:専任教員の新規採用に伴い、担当者が「教授1」から「教授1・講師1」に変更 「化学と環境」:専任教員の新規採用に伴い、担当者が「教授1」から「講師1」に変更

<教職関連科目群>

「道德教育の理論と方法」:教育効果を高めるため、配当年次を「3前・後」から「2・3前・後」に変更
「教育実習 (中学校・高等学校)」:カリキュラム改編により科目追加
「教育実習 (中・高)」:カリキュラム改編により科目削除
「学校体験活動 A (中学校・高等学校)」:カリキュラム改編により科目追加
「学校体験活動 B (中学校・高等学校)」:カリキュラム改編により科目追加
「学校体験活動 C (中学校・高等学校)」:カリキュラム改編により科目追加
「学校体験活動 D (中学校・高等学校)」:カリキュラム改編により科目追加
「教育インターンシップ A」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「2・3・4前・後」に変更
「教育インターンシップ B」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「2・3・4前・後」に変更、及び、教育内容の充実を図るため、担当者が「兼任・兼任1」から「教授1」に変更
「教育インターンシップ C」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「2・3・4前・後」に変更、及び、教育内容の充実を図るため、担当者が「兼任・兼任1」から「教授1」に変更
「教育インターンシップ D」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「2・3・4前・後」に変更、及び、教育内容の充実を図るため、担当者が「兼任・兼任1」から「教授1」に変更
「介護等体験」:カリキュラム改編により科目追加

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
19 科目	290 科目	0 科目	309 科目	19 科目 [±0]	309 科目 [+19]	0 科目 [±0]	328 科目 [+19]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	環境教育ワークショップ ^o Ⅰ	2	1・2・3・4後	一般	選択	US科目(全学共通科目)カリキュラム改編により科目削除(5) (削除2科目 ⇒ 追加10科目)
2	環境教育ワークショップ ^o Ⅱ	2	2・3・4前	一般	選択	US科目(全学共通科目)カリキュラム改編により科目削除(5) (削除2科目 ⇒ 追加10科目)
3	教育実習(中学校) ※令和4年度「教育実習(中・高)」に科目名称変更	5	3後～4前	一般	選択	教職関連科目群カリキュラム改編により科目削除(6) (削除1科目 ⇒ 追加8科目)

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目については、US科目(全学共通科目)のカリキュラム改編による。令和5年度新入生からのカリキュラム改編であったため、学生には全く支障は生じていない。(削除2科目 ⇒ 追加10科目)(5) 廃止科目については、教職関連科目群のカリキュラム改編による。令和6年度新入生からのカリキュラム改編であったため、学生には全く支障は生じていない。(削除1科目 ⇒ 追加8科目)(6)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{309} = \boxed{0.97} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容					備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	<共有する他の学校の名称・収容定員・校地面積基準>		
	校 舎 敷 地	0.00 ㎡	345,867.43 ㎡	0.00 ㎡	345,867.43 ㎡	玉川学園高等部 795人 13,020㎡		
	運動場用地	0.00 ㎡	58,264.56 ㎡	0.00 ㎡	58,264.56 ㎡	玉川学園中学部 705人 12,390㎡		
	小 計	0.00 ㎡	404,131.99 ㎡	0.00 ㎡	404,131.99 ㎡	玉川学園小学部 840人 10,980㎡		
	そ の 他	0.00 ㎡	204,923.58 ㎡	0.00 ㎡	204,923.58 ㎡	玉川学園幼稚部 140人 1,000㎡		
	合 計	0.00 ㎡	609,055.57 ㎡	0.00 ㎡	609,055.57 ㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎一部解体のため。修学環境に及ぼす影響はない(5)		
		106,538.02 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	106,538.02 ㎡			
		(106,527.02 ㎡)	(0.00 ㎡)	(0.00 ㎡)	(106,527.02 ㎡)			
		(106,538.02 ㎡)	(㎡)	(0.00 ㎡)	(106,538.02 ㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	既存校舎の用途変更のため。機能は新校舎に移転されており、修学環境に及ぼす影響はない(5)		
	75		195	0 室	0 室			
	76 室	50 室	202 室	(補助職員 0 人)	(補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		専任教員新規採用のため(5) 専任教員新規採用のため(6)		
		工学部デザインサイエンス学科		10 9 8 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体の数 教育の充実のため、図書等を購入。処分・整理を行ったことにより視聴覚資料が減少となっているが、学生への影響はない。(5) 図書等の処分・整理を行ったことにより減少となっている。また、旧校舎解体に伴い使用しない機械・器具を処分した。いずれも学生への影響はない。(6)
	工学部 デザインサイエンス学科		19,156〔12,412〕 19,190〔12,460〕 18,230〔11,540〕	10,166〔10,070〕 10,220〔10,120〕 9,300〔9,235〕			12	
		1,024,000〔311,000〕			32,400	5,930		
		(1,004,611〔307,300〕)	(19,156〔12,412〕)	(10,166〔10,070〕)	(32,088)	(6,065)	(13)	
		(995,992〔306,671〕)	(19,152〔12,422〕)	(10,183〔10,087〕)	(32,036)	(6,158)	(13)	
		(994,500〔306,200〕)	(18,200〔11,520〕)	(9,260〔9,195〕)	(32,150)	(5,930)	(12)	
	計		19,156〔12,412〕 19,190〔12,460〕 18,230〔11,540〕	10,166〔10,070〕 10,220〔10,120〕 9,300〔9,235〕				
		1,024,000〔311,000〕			32,400	5,930	12	
		(1,004,611〔307,300〕)	(19,156〔12,412〕)	(10,166〔10,070〕)	(32,088)	(6,065)	(13)	
		(995,992〔306,671〕)	(19,152〔12,422〕)	(10,183〔10,087〕)	(32,036)	(6,158)	(13)	
	(994,500〔306,200〕)	(18,200〔11,520〕)	(9,260〔9,195〕)	(32,150)	(5,930)	(12)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	9,022.42 ㎡	1,040 席		1,301,220 冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	4226.96 ㎡	屋内プール	東京都町田市 玉川学園 六丁目 1番1号	昭和47年8月	2,766.30 ㎡			
		弓道場		昭和41年9月	1,314.00 ㎡			
		洋弓場		昭和59年3月	2,053.00 ㎡			
		ゴルフ場		昭和38年4月	4,862.00 ㎡			

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書及び設備購入については、大学全体の予算内での調整及び校舎整備に伴う設備整備のため当該学科の予算に変更が生じた。(5) 図書及び設備購入については、大学全体の予算内での調整及び校舎整備に伴う設備整備のため当該学科の予算に変更が生じた。(6)
		教員 1 人当り研究費等	400 千円	400 千円	図書購入費	994 1,417 千円	1,417 1,500 千円	1,500 千円	
		共同研究費等	2,000 千円	2,000 千円	設備購入費	5,304 5,490 千円	18,842 6,000 千円	6,000 千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	光熱水費高騰他に伴う改定。(6)	
		1,928 千円	1,694.9 1,688 千円	1,704.9 1,698 千円	1,714.9 1,708 千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号（その 1 の 1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称		玉 川 大 学								収容定員充足率0.7倍以下の学科数	5	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
文学部	4	140	-	560	-	0.95	-	-	昭和24	-			
国語教育学科	4	60	-	240	学士(文学)	1.10	1.10	-	平成29	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号			
英語教育学科	4	80	-	320	学士(文学)	0.83	-	-	平成27	同上			
農学部	4	295	-	1180	-	0.80	-	-	昭和24	-			
生産農学科	4	155	-	620	学士(農学)	0.79	-	令和3	平成29	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号	令和3年度から入学定員変更(165→155)		
環境農学科	4	70	-	280	学士(農学)	0.56	-	-	平成29	同上			
先端食農学科	4	70	-	280	学士(農学)	1.04	1.03	-	平成29	同上			
工学部	4	240	-	960	-	1.03	1.01	-	昭和37	-			
情報通信工学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.10	1.06	-	平成29	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号			
ソフトウェアサイエンス学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.27	1.23	-	平成20	同上			
マネジメントサイエンス学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.00	-	-	平成16	同上			
エンジニアリングデザイン学科	4	-	-	-	-	-	-	-	平成27	同上	令和5年度入学生より学生募集停止		
デザインサイエンス学科	4	60	-	240	学士(工学)	0.51	-	-	令和5	同上			
経営学部	4	130	-	520	-	1.02	1.01	-	平成13	-			
国際経営学科	4	130	-	520	学士(経営学)	1.02	1.01	-	平成13	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号			
教育学部	4	295	-	1,180	-	1.12	1.11	-	平成14	-			
教育学科	4	220	-	880	学士(教育学)	1.13	1.12	令和3	平成14	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号	令和3年度から入学定員変更(240→220)		
乳幼児発達学科	4	75	-	300	学士(教育学)	1.09	-	-	平成15	同上			
芸術学部	4	270	-	1,080	-	0.88	-	-	平成14	-			
音楽学科	4	80	-	320	学士(芸術学)	0.44	-	-	令和3	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号			
アート・デザイン学科	4	100	-	400	学士(芸術学)	1.07	-	-	令和3	同上			
演劇・舞踊学科	4	90	-	360	学士(芸術学)	1.05	-	-	令和3	同上			
パフォーマンス・アーツ学科	4	-	-	-	-	-	-	-	平成14	同上	令和3年度入学生より学生募集停止		
メディア・デザイン学科	4	-	-	-	-	-	-	-	平成26	同上	令和3年度入学生より学生募集停止		
芸術教育学科	4	-	-	-	-	-	-	-	平成26	同上	令和3年度入学生より学生募集停止		
リベラルアーツ学部	4	160	-	640	-	1.07	1.06	-	平成19	-			
リベラルアーツ学科	4	160	-	640	学士(リベラルアーツ)	1.07	1.06	-	平成19	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号			
観光学部	4	120	-	480	-	0.65	-	-	平成25	-			
観光学科	4	120	-	480	学士(観光学)	0.65	-	令和3	平成25	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号	令和3年度から入学定員変更(90→120)		
大学全体	-	1,650	-	6,600	-	0.93	-	-	-	-			

教育学部	4	1,500	-	6,000	-	0.34	-	-	平成25	-	
教育学科通信教育課程	4	1,500	-	6,000	学士 (教育学)	0.34	-	-	平成25	東京都町田市玉川学園 六丁目1番1号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

＜工学部 デザインサイエンス学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科主任)	川森 重弘 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		科学入門※ デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ デザインサイエンス実験 スケッチとドローイング マカクス(材料) 化学と環境 自然科学実験※ デザインサイエンスセミナーⅠ マカクス(材料)演習 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ マテリアルプロセッシング デザインサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ
専	教授	木村 仁 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ プログラミングⅡ デザインサイエンス実験 機構デザイン マカクス(機械) ドローイング応用 バイオメカニクス デザインサイエンスセミナーⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ マカロニクス マカロニクス演習 デザインサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ
専	教授	黒田 潔 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		物理学入門 科学入門※ デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ 物理学ⅡA 知的財産権の基礎 工学倫理 自然科学実験※ デザインサイエンスセミナーⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ デジタルデザイン※ デザインサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科主任)	川森 重弘 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		科学入門※ デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ デザインサイエンス実験 スケッチとドローイング マカクス(材料) 化学と環境 自然科学実験※ デザインサイエンスセミナーⅠ マカクス(材料)演習 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ マテリアルプロセッシング デザインサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ
専	教授	木村 仁 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		玉川の教育 STEM入門(科学と社会) デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ プログラミングⅡ デザインサイエンス実験 機構デザイン マカクス(機械) ドローイング応用 バイオメカニクス デザインサイエンスセミナーⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ マカロニクス マカロニクス演習 デザインサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ
専	教授	黒田 潔 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		物理学入門 科学入門※ デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ 物理学ⅡA 知的財産権の基礎 工学倫理 自然科学実験※ デザインサイエンスセミナーⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ デジタルデザイン※ デザインサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科主任)	川森 重弘 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		科学入門※ デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ デザインサイエンス実験 スケッチとドローイング マカクス(材料) 自然科学実験※ デザインサイエンスセミナーⅠ マカクス(材料)演習 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ マテリアルプロセッシング デザインサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ
専	教授	木村 仁 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		STEM入門(科学と社会) デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ プログラミングⅡ デザインサイエンス実験 機構デザイン マカクス(機械) ドローイング応用 バイオメカニクス デザインサイエンスセミナーⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ マカロニクス マカロニクス演習 デザインサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ
専	教授	黒田 潔 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		物理学入門 科学入門※ デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ 物理学ⅡA 知的財産権の基礎 工学倫理 自然科学実験※ デザインサイエンスセミナーⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ デジタルデザイン※ デザインサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

【令和8年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	三林 洋介 <令和5年4月> 博士(工学)	専	教授	三林 洋介 <令和5年4月> 博士(工学)						
		デジタルサイエンス入門(デジタル史を含む)※ 管理技法 人間工学 ユニバーサルデザイン 金属加工実習 デジタルサイエンスセミナーⅠ インターシップⅠ インターシップⅡ インターシップⅢ インターシップⅣ インターシップⅤ プロダクトデザイン※ デジタルサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ 教育実習(中・高) 教育実習(高等学校) 教職実践演習 教育インターシップ A			デジタルサイエンス入門(デジタル史を含む)※ 管理技法 人間工学 ユニバーサルデザイン 金属加工実習 デジタルサイエンスセミナーⅠ インターシップⅠ インターシップⅡ インターシップⅢ インターシップⅣ インターシップⅤ プロダクトデザイン※ デジタルサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ 教育実習(中・高) 教育実習(高等学校) 教職実践演習 教育インターシップ A			デジタルサイエンス入門(デジタル史を含む)※ 管理技法 人間工学 ユニバーサルデザイン 金属加工実習 デジタルサイエンスセミナーⅠ インターシップⅠ インターシップⅡ インターシップⅢ インターシップⅣ インターシップⅤ プロダクトデザイン※ デジタルサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ 教育実習(中学校・高等学校) 教育実習(高等学校) 教職実践演習 教育インターシップ A 教育インターシップ B 教育インターシップ C 教育インターシップ D			
専	教授	山田 義照 <令和5年4月> 博士(経営学)	専	教授	山田 義照 <令和5年4月> 博士(経営学)						
		デジタルサイエンス入門(デジタル史を含む)※ 原価計算 起業プランニング デジタルサイエンスセミナーⅠ インターシップⅠ インターシップⅡ インターシップⅢ インターシップⅣ デジタルインと経営 管理会計 デジタルサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ			デジタルサイエンス入門(デジタル史を含む)※ 原価計算 起業プランニング デジタルサイエンスセミナーⅠ インターシップⅠ インターシップⅡ インターシップⅢ インターシップⅣ デジタルインと経営 管理会計 デジタルサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ			デジタルサイエンス入門(デジタル史を含む)※ 原価計算 起業プランニング デジタルサイエンスセミナーⅠ インターシップⅠ インターシップⅡ インターシップⅢ インターシップⅣ デジタルインと経営 管理会計 デジタルサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ			
専	准教授	斉藤(齊藤) 純 <令和5年4月> 修士(工学)	専	准教授	斉藤(齊藤) 純 <令和5年4月> 修士(工学)						
		デジタルサイエンス入門(デジタル史を含む)※ プログラミングⅠ デジタルファブリケーション入門 デジタルファブリケーション 電気回路基礎 ソフトエレクトロニクス デジタルファブリケーション演習 デジタルサイエンスセミナーⅠ 海外研修 インターシップⅠ インターシップⅡ インターシップⅢ インターシップⅣ 電気回路演習 デジタルサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ			デジタルサイエンス入門(デジタル史を含む)※ プログラミングⅠ デジタルファブリケーション入門 デジタルファブリケーション 電気回路基礎 ソフトエレクトロニクス デジタルファブリケーション演習 デジタルサイエンスセミナーⅠ 海外研修 インターシップⅠ インターシップⅡ インターシップⅢ インターシップⅣ 電気回路演習 デジタルサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ			デジタルサイエンス入門(デジタル史を含む)※ プログラミングⅠ デジタルファブリケーション入門 デジタルファブリケーション 電気回路基礎 ソフトエレクトロニクス デジタルファブリケーション演習 デジタルサイエンスセミナーⅠ 海外研修 インターシップⅠ インターシップⅡ インターシップⅢ インターシップⅣ 電気回路演習 デジタルサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ			
専	准教授	水野 貴敏 <令和5年4月> 博士(工学) 学士(理学)	専	准教授	水野 貴敏 <令和5年4月> 博士(工学) 学士(理学)						
		一年次セミナー101 一年次セミナー102 玉川の教育 科学入門※ エレクトロニクス科学 デジタルサイエンス入門(デジタル史を含む)※ 物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 20世紀の物理学 自然科学実験※ デジタルサイエンスセミナーⅠ インターシップⅠ インターシップⅡ インターシップⅢ インターシップⅣ デジタルサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ			一年次セミナー101 一年次セミナー102 科学入門※ エレクトロニクス科学 デジタルサイエンス入門(デジタル史を含む)※ 物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 20世紀の物理学 自然科学実験※ デジタルサイエンスセミナーⅠ インターシップⅠ インターシップⅡ インターシップⅢ インターシップⅣ デジタルサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ			科学入門※ エレクトロニクス科学 デジタルサイエンス入門(デジタル史を含む)※ 物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 20世紀の物理学 自然科学実験※ デジタルサイエンスセミナーⅠ インターシップⅠ インターシップⅡ インターシップⅢ インターシップⅣ デジタルサイエンスセミナーⅡ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	大谷 千恵 ＜令和5年4月＞ Master of Arts in Education (米国) 修士(文学) SAE(海外留学・研修)プログラムA SAE(海外留学・研修)プログラムB SAE(海外留学・研修)プログラムC SAE(海外留学・研修)プログラムD SAE(海外留学・研修)プログラムE SAE(海外留学・研修)プログラムF SAE(海外留学・研修)プログラムG SAE(海外留学・研修)プログラムH SAE(海外留学・研修)プログラムI SAE(海外留学・研修)プログラムJ	兼任	教授	大谷 千恵 ＜令和5年4月＞ Master of Arts in Education (米国) 修士(文学) 異文化理解と教育	兼任	教授	大谷 千恵 ＜令和5年4月＞ Master of Arts in Education (米国) 修士(文学) 異文化理解と教育			
兼任	教授	鎌田 伸尚 ＜令和5年4月＞ Doctor of Business Administration (スイス) 文化人類学									
兼任	教授	川崎 登志喜 ＜令和5年4月＞ 体育学修士 生涯スポーツ演習 社会体育論	兼任	教授	川崎 登志喜 ＜令和5年4月＞ 体育学修士 社会体育論	兼任	教授	川崎 登志喜 ＜令和5年4月＞ 体育学修士 社会体育論			
兼任	教授	菅野 和郎 ＜令和6年4月＞ 修士(歴史学)※ 博物館資料保存論	兼任	教授	菅野 和郎 ＜令和6年4月＞ 修士(歴史学)※ 博物館資料保存論	兼任	教授	菅野 和郎 ＜令和6年4月＞ 修士(歴史学)※ 博物館資料保存論			
兼任	教授	北原 博雄 ＜令和5年4月＞ 博士(文学) 日本語学	兼任	教授	北原 博雄 ＜令和5年4月＞ 博士(文学) 日本語学	兼任	教授	北原 博雄 ＜令和5年4月＞ 博士(文学) 日本語学			
兼任	教授	日下 芳朗 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 解析学入門 数学入門 代数学入門 解析学Ⅰ	兼任	教授	日下 芳朗 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 解析学入門 代数学入門 解析学Ⅰ	兼任	教授	日下 芳朗 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 解析学入門 代数学入門 解析学Ⅰ			
兼任	教授	工藤 亘 ＜令和7年4月＞ 修士(教育学)※ 生徒・進路指導の理論と方法	兼任	教授	工藤 亘 ＜令和7年4月＞ 修士(教育学)※ 生徒・進路指導の理論と方法	兼任	教授	工藤 亘 ＜令和7年4月＞ 修士(教育学)※ 生徒・進路指導の理論と方法			
兼任	教授	小酒井 正和 ＜令和5年4月＞ 博士(経営学) 自然科学アドミニストレーション(リーディング) 人工知能と社会	兼任	教授	小酒井 正和 ＜令和5年4月＞ 博士(経営学) 人工知能と社会	兼任	教授	小酒井 正和 ＜令和5年4月＞ 博士(経営学) 複合領域研究 201～299			
兼任	教授	小林(村上) 直樹 ＜令和5年4月＞ 博士(経営学) 統計学入門	兼任	教授	小林(村上) 直樹 ＜令和5年4月＞ 博士(経営学) 統計学入門	兼任	教授	小林(村上) 直樹 ＜令和5年4月＞ 博士(経営学) 統計学入門			
兼任	教授	坂野 慎二 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学) 教育の制度と経営 教育課程編成論									
兼任	教授	佐久間 裕之 ＜令和5年4月＞ 文学修士※ 教育原理 教育哲学 教職概論	兼任	教授	佐久間 裕之 ＜令和5年4月＞ 文学修士※ 教育原理	兼任	教授	佐久間 裕之 ＜令和5年4月＞ 文学修士※ 教育原理			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	笹井 宏益 ＜令和7年4月＞ 法学士 三年次ゼミナー 301 三年次ゼミナー 302	兼任	教授	笹井 宏益 ＜令和7年4月＞ 法学士 三年次ゼミナー 301 三年次ゼミナー 302 社会教育経営論 B	兼任	教授	笹井 宏益 ＜令和7年4月＞ 法学士 三年次ゼミナー 301 三年次ゼミナー 302 社会教育経営論 B			
兼任	教授	佐藤 健治 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 代数学Ⅰ 解析学Ⅱ 幾何学Ⅰ 代数学Ⅱ 幾何学Ⅱ	兼任	教授	佐藤 健治 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 代数学Ⅰ 解析学Ⅱ 幾何学Ⅰ 代数学Ⅱ 幾何学Ⅱ	兼任	教授	佐藤 健治 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 代数学Ⅰ 解析学Ⅱ 幾何学Ⅰ 代数学Ⅱ 幾何学Ⅱ			
兼任	教授	佐藤(小島) 由紀 ＜令和5年4月＞ 博士(学際情報学) 心理学	兼任	教授	佐藤(小島) 由紀 ＜令和5年4月＞ 博士(学際情報学) 心理学						
兼任	教授	朱 浩東 ＜令和5年4月＞ 博士(社会学) 教育学修士 歴史学学士 ことばと文化 中国語 101 中国語 102	兼任	教授	朱 浩東 ＜令和5年4月＞ 博士(社会学) 教育学修士 歴史学学士 ことばと文化 中国語 101 中国語 102	兼任	教授	朱 浩東 ＜令和5年4月＞ 博士(社会学) 教育学修士 歴史学学士 ことばと文化 名著読解(人文科学) 中国語 101 中国語 102			
兼任	教授	高橋(立花) 愛 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学) 人文科学アカデミックスキル(ライティング)	兼任	教授	高橋(立花) 愛 ＜令和5年4月＞ プレゼンテーションスキル	兼任	教授	高橋(立花) 愛 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学) プレゼンテーションスキル			
兼任	教授	高平 小百合 ＜令和5年4月＞ PH.D. in Human Development (米国) 教育心理学	兼任	教授	高平 小百合 ＜令和5年4月＞ PH.D. in Human Development (米国) 教育心理学	兼任	教授	高平 小百合 ＜令和5年4月＞ PH.D. in Human Development (米国) 教育心理学			
兼任	教授	谷 和樹 ＜令和7年4月＞ 修士(学校教育) 現代社会の教育課題	兼任	教授	谷 和樹 ＜令和7年4月＞ 修士(学校教育) 現代社会の教育課題	兼任	教授	谷 和樹 ＜令和7年4月＞ 修士(学校教育) 現代社会の教育課題			
兼任	教授	田畑 忍 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) 修士(教育学) 教育方法・技術論 ICT活用の理論と実践	兼任	教授	田畑 忍 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) 修士(教育学) 教育方法・技術論 ICT活用の理論と実践	兼任	教授	田畑 忍 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) 修士(教育学) 教育方法・技術論 ICT活用の理論と実践			
兼任	教授	富田 信一 ＜令和5年4月＞ 博士(農学) 化学入門	兼任	教授	富田 信一 ＜令和5年4月＞ 博士(農学) 化学入門	兼任	教授	富田 信一 ＜令和5年4月＞ 博士(農学) 化学入門			
兼任	教授	TRELFA Douglas Arthur ＜令和5年4月＞ Ph.D. in Sociology(米国) 比較文化論	兼任	教授	TRELFA Douglas Arthur ＜令和5年4月＞ Ph.D. in Sociology(米国) 比較文化論	兼任	教授	TRELFA Douglas Arthur ＜令和5年4月＞ Ph.D. in Sociology(米国) 比較文化論			
兼任	教授	永井 悦子 ＜令和5年4月＞ 博士(学術) 修士(教育学) 地域創生プロジェクト A 地域創生プロジェクト B 地域創生プロジェクト C 地域創生プロジェクト D 地域創生プロジェクト E 地域創生プロジェクト F フィールドワーク A フィールドワーク B フィールドワーク C Japan Studies Overseas A Japan Studies Overseas B Japan Studies Overseas C	兼任	教授	永井 悦子 ＜令和5年4月＞ 博士(学術) 修士(教育学) 地域創生プロジェクト A 地域創生プロジェクト B 地域創生プロジェクト C 地域創生プロジェクト D 地域創生プロジェクト E 地域創生プロジェクト F Japan Studies Overseas A Japan Studies Overseas B Japan Studies Overseas C	兼任	教授	永井 悦子 ＜令和5年4月＞ 博士(学術) 修士(教育学) 地域創生プロジェクト A 地域創生プロジェクト B 地域創生プロジェクト C 地域創生プロジェクト D 地域創生プロジェクト E 地域創生プロジェクト F Japan Studies Overseas A Japan Studies Overseas B Japan Studies Overseas C			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	中嶋(福嶋) 真美 ＜令和5年4月＞ 博士(農学) 修士(国際協力学) 修士(アメリカ研究) 社会学									
兼任	教授	中村 香 ＜令和5年4月＞ 博士(学術) Master of Arts(英国) 学士(教養) ホランテイ/概論 生涯学習概論 社会教育課題研究 社会教育実習	兼任	教授	中村 香 ＜令和5年4月＞ 博士(学術) Master of Arts(英国) 学士(教養) ホランテイ/概論 生涯学習概論 社会教育課題研究 社会教育実習	兼任	教授	中村 香 ＜令和5年4月＞ 博士(学術) Master of Arts(英国) 学士(教養) ホランテイ/概論 生涯学習概論 社会教育課題研究 社会教育実習			
兼任	教授	中山 剛史 ＜令和5年4月＞ 博士(文学) ロシア	兼任	教授	中山 剛史 ＜令和5年4月＞ 博士(文学) ロシア	兼任	教授	中山 剛史 ＜令和5年4月＞ 博士(文学) ロシア			
兼任	教授	成川 康男 ＜令和6年4月＞ 博士(理学) 数学科指導法 I 確率統計学 II 数学科指導法 II 数学科指導法 III 数学科指導法 IV	兼任	教授	成川 康男 ＜令和6年4月＞ 博士(理学) 数学科指導法 I 確率統計学 II 数学科指導法 II 数学科指導法 III 数学科指導法 IV	兼任	教授	成川 康男 ＜令和6年4月＞ 博士(理学) 数学科指導法 I 確率統計学 II 数学科指導法 II 数学科指導法 III 数学科指導法 IV			
兼任	教授	庭野 裕恵(裕恵) ＜令和7年4月＞ 博士(医学) 病理学	兼任	教授	庭野 裕恵(裕恵) ＜令和7年4月＞ 博士(医学) 病理学	兼任	教授	庭野 裕恵(裕恵) ＜令和7年4月＞ 博士(医学) 病理学			
兼任	教授	馬場 眞二 ＜令和5年4月＞ 修士(音楽) 音楽 I 音楽 II	兼任	教授	馬場 眞二 ＜令和5年4月＞ 修士(音楽) 音楽 I 音楽 II	兼任	教授	馬場 眞二 ＜令和5年4月＞ 修士(音楽) 音楽 I 音楽 II			
兼任	教授	原田 眞理 ＜令和6年4月＞ 博士(保健学) 教育相談の理論と方法 精神保健	兼任	教授	原田 眞理 ＜令和6年4月＞ 博士(保健学) 教育相談の理論と方法 精神保健	兼任	教授	原田 眞理 ＜令和6年4月＞ 博士(保健学) 教育相談の理論と方法 精神保健			
兼任	教授	富士池 優美 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※ データ処理	兼任	教授	富士池 優美 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※ データ処理	兼任	教授	富士池 優美 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※ データ処理 日本語表現 101			
兼任	教授	松田 哲也 ＜令和5年4月＞ 博士(医学) 修士(工学) 学士(文学) マクロ脳科学	兼任	教授	松田 哲也 ＜令和5年4月＞ 博士(医学) 修士(工学) 学士(文学) マクロ脳科学	兼任	教授	松田 哲也 ＜令和5年4月＞ 博士(医学) 修士(工学) 学士(文学) マクロ脳科学			
兼任	教授	宮田 成紀 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) 物理学入門 実践の物理学 デザインサイエンス演習(デッサンを含む)※	兼任	教授	宮田 成紀 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) 物理学入門 実践の物理学 デザインサイエンス演習(デッサンを含む)※	兼任	教授	宮田 成紀 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) 物理学入門 実践の物理学 デザインサイエンス演習(デッサンを含む)※ 物理学 I			
兼任	教授	村山 にな ＜令和5年4月＞ Ph.D.in Art History(米国) 工学士 美術史 博物館概論 博物館教育論	兼任	教授	村山 にな ＜令和5年4月＞ Ph.D.in Art History(米国) 工学士 美術史 博物館概論 博物館教育論	兼任	教授	村山 にな ＜令和5年4月＞ Ph.D.in Art History(米国) 工学士 美術史 博物館概論 博物館教育論			
兼任	教授	山口 圭介 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)※ 道徳教育の理論と方法	兼任	教授	山口 圭介 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)※ 教育哲学 道徳教育の理論と方法	兼任	教授	山口 圭介 ＜令和7年4月＞ 修士(文学)※ 教育哲学 道徳教育の理論と方法			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	山崎 浩一 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) 情報倫理と社会 デジタルシメンシッブ	兼任	教授	山崎 浩一 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) デジタルシメンシッブ									
兼任	教授	LIA Steve (LIA Stiven) ＜令和6年4月＞ Master of Applied Linguistics(TESOL) (オーストラリア) Issues in Japanese Studies A Issues in Japanese Studies B Academic Communication Presentation Skills in English	兼任	教授	LIA Steve (LIA Stiven) ＜令和6年4月＞ Master of Applied Linguistics(TESOL) (オーストラリア) Issues in Japanese Studies A Issues in Japanese Studies B Academic Communication Presentation Skills in English	兼任	教授	LIA Steve (LIA Stiven) ＜令和6年4月＞ Master of Applied Linguistics(TESOL) (オーストラリア) Issues in Japanese Studies A Issues in Japanese Studies B Academic Communication Presentation Skills in English						
兼任	准教授	有源探 ジェラード ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※ 哲学	兼任	准教授	有源探 ジェラード ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※ 哲学	兼任	准教授	有源探 ジェラード ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※ 哲学						
兼任	准教授	市川 直子 ＜令和5年4月＞ 博士(農学) 科学入門※ 名著講読(自然科学)	兼任	准教授	市川 直子 ＜令和5年4月＞ 博士(農学) 科学入門※	兼任	教授	市川 直子 ＜令和5年4月＞ 博士(農学) 科学入門※						
兼任	准教授	岡田 トリシヤ (OKADA Tricia salazar) ＜令和5年4月＞ 博士(学術) ELF Introduction (A) ELF Introduction (B) ELF Introduction (C) ELF Foundation (A) ELF Foundation (B) ELF Foundation (C)	兼任	准教授	岡田 トリシヤ (OKADA Tricia salazar) ＜令和5年4月＞ 博士(学術) ELF Communication for Teachers	兼任	准教授	岡田 トリシヤ (OKADA Tricia salazar) ＜令和5年4月＞ 博士(学術) ELF Foundation (C) ELF & Global Communication (A) ELF & Global Leadership (B)						
兼任	准教授	川本 和孝 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学) Master of Science(米国) 学士(文学) TAPファンタジーシオン II 生涯学習支援論 B 特別活動の理論と方法	兼任	准教授	川本 和孝 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学) Master of Science(米国) 学士(文学) TAPファンタジーシオン II 生涯学習支援論 B 特別活動の理論と方法	兼任	准教授	川本 和孝 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学) Master of Science(米国) 学士(文学) TAPファンタジーシオン II 特別活動の理論と方法						
兼任	准教授	木内 正光 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) 経営学	兼任	准教授	木内 正光 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) 経営学	兼任	教授	木内 正光 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) 経営学						
兼任	准教授	黒嶋(宮崎) 智美 ＜令和5年4月＞ Ph.D. in Applied Linguistics (米国) ELF & Global Communication (A) ELF & Global Communication (B) ELF Academic Literacy 中級 ELF & Global Leadership (A) ELF & Global Leadership (B) ELF Academic Literacy 上級	兼任	准教授	黒嶋(宮崎) 智美 ＜令和5年4月＞ Ph.D. in Applied Linguistics (米国) ELF Introduction (A) ELF Introduction (C) ELF & Global Communication (B) ELF & Global Leadership (A) ELF & Global Leadership (B) ELF Academic Literacy 上級	兼任	准教授	黒嶋(宮崎) 智美 ＜令和5年4月＞ Ph.D. in Applied Linguistics (米国) ELF Introduction (A) ELF Introduction (C)						
兼任	准教授	GOTTARDO Marco ＜令和5年4月＞ Ph.D.(米国) M.Phil.(米国) 宗教学 世界の宗教と文化 Japanology 現代文化論	兼任	准教授	GOTTARDO Marco ＜令和5年4月＞ Ph.D.(米国) M.Phil.(米国) 宗教学 世界の宗教と文化 Japanology 学際アガミックス(リーディング) 現代文化論	兼任	准教授	GOTTARDO Marco ＜令和5年4月＞ Ph.D.(米国) M.Phil.(米国) 宗教学 世界の宗教と文化 Japanology 学際アガミックス(リーディング) 現代文化論						
兼任	准教授	今野 哲也 ＜令和5年4月＞ 博士(音楽) 経済学士 音楽史	兼任	准教授	今野 哲也 ＜令和5年4月＞ 博士(音楽) 経済学士 音楽史	兼任	准教授	今野 哲也 ＜令和5年4月＞ 博士(音楽) 経済学士 音楽史						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	佐治 量哉 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)	兼任	教授	佐治 量哉 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)	兼任	教授	佐治 量哉 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)			
		ミクロ脳科学			ミクロ脳科学			ミクロ脳科学			
兼任	准教授	佐藤 雅俊 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)	兼任	准教授	佐藤 雅俊 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)	兼任	教授	佐藤 雅俊 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)			
		情報科学入門			情報科学入門			情報科学入門			
兼任	准教授	下村 恭広 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※	兼任	准教授	下村 恭広 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※	兼任	准教授	下村 恭広 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※			
		二年次セミナー 201 二年次セミナー 202 インターシッブ A インターシッブ B インターシッブ C インターシッブ D			二年次セミナー 201 二年次セミナー 202			二年次セミナー 201 二年次セミナー 202			
兼任	准教授	鈴木 淳也 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)	兼任	准教授	鈴木 淳也 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)	兼任	准教授	鈴木 淳也 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)			
		健康教育 体育			体育			体育			
兼任	准教授	高城 宏行 ＜令和5年4月＞ Ph.D. in Education (英国)	兼任	准教授	高城 宏行 ＜令和5年4月＞ Ph.D. in Education (英国)	兼任	教授	高城 宏行 ＜令和5年4月＞ Ph.D. in Education (英国)			
		海外留学入門 国際研究 A 国際研究 B 国際研究 C 国際研究 D 国際研究 E 国際研究 F			コミュニケーション論 海外留学入門 国際研究 A 国際研究 B 国際研究 C 国際研究 D 国際研究 E 国際研究 F			コミュニケーション論 SAE (海外留学・研修) プログラム A SAE (海外留学・研修) プログラム B 海外留学入門 国際研究 A 国際研究 B 国際研究 C 国際研究 D 国際研究 E 国際研究 F			
兼任	准教授	立野 貴之 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) 修士(経済学) 学士(外国文化)									
		マルチメディア表現									
兼任	准教授	田中 素子 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy (カナダ)	兼任	教授	田中 素子 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy (カナダ)	兼任	教授	田中 素子 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy (カナダ)			
		日本学入門 Japanese Pop Culture			日本学入門 Japanese Pop Culture			日本学入門 Japanese Pop Culture			
兼任	准教授	谷脇 茂樹 ＜令和5年4月＞ 修士(経済学)	兼任	准教授	谷脇 茂樹 ＜令和5年4月＞ 修士(経済学)	兼任	准教授	谷脇 茂樹 ＜令和5年4月＞ 修士(経済学)			
		観光学入門			観光学入門			観光学入門			
兼任	准教授	多和田 真太良 ＜令和5年4月＞ 博士(表象文化学)	兼任	准教授	多和田 真太良 ＜令和5年4月＞ 博士(表象文化学)	兼任	准教授	多和田 真太良 ＜令和5年4月＞ 博士(表象文化学)			
		演劇史			演劇史			玉川の行事・式典 A 玉川の行事・式典 B 玉川の行事・式典 C 演劇史 地域創生プロジェクト E 地域創生プロジェクト F			
兼任	准教授	CHAIKUL Rasami ＜令和5年4月＞ M.Ed. TEFL (タイ)	兼任	准教授	CHAIKUL Rasami ＜令和5年4月＞ M.Ed. TEFL (タイ)	兼任	准教授	CHAIKUL Rasami ＜令和5年4月＞ M.Ed. TEFL (タイ)			
		ELF Introduction (A) ELF Introduction (B) ELF Introduction (C) ELF Foundation (A) ELF Foundation (B) ELF Foundation (C)			ELF Introduction (A) BELF 初級 ELF Foundation (A)			ELF Introduction (A) ELF Foundation (A) ELF Foundation (B) BELF 初級			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	DIMOSKI Blagoja ＜令和5年4月＞ Master of Arts in Applied Linguistics (オーストラリア) ELF Communication for Teachers	兼任	准教授	DIMOSKI Blagoja ＜令和5年4月＞ Master of Arts in Applied Linguistics (オーストラリア) ELF Foundation (A) ELF Academic Literacy 上級	兼任	准教授	DIMOSKI Blagoja ＜令和5年4月＞ Master of Arts in Applied Linguistics (オーストラリア)			
兼任	准教授	萩原 哉 ＜令和6年4月＞ 修士(歴史学)※ 博物館経営論 博物館展示論	兼任	准教授	萩原 哉 ＜令和6年4月＞ 修士(歴史学)※ 博物館経営論 博物館展示論	兼任	准教授	萩原 哉 ＜令和6年4月＞ 修士(歴史学)※ 博物館経営論 博物館展示論			
兼任	准教授	長谷川 英伸 ＜令和6年4月＞ 博士(経営学) コオプ・プログラム	兼任	教授	長谷川 英伸 ＜令和6年4月＞ 博士(経営学) コオプ・プログラム						
兼任	准教授	早川 博章 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) STEM入門(科学と社会) データサイエンス I	兼任	准教授	早川 博章 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) データサイエンス I	兼任	准教授	早川 博章 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) データサイエンス I			
兼任	准教授	松山 巖 ＜令和5年4月＞ 教育学修士※ 学校図書館メディアの構成 児童サービス論 図書・図書館史 図書館概論 図書館サービス概論 図書館施設論 図書館情報技術論 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論 図書館制度・経営論 情報資源組織演習 A 情報資源組織演習 B 情報資源組織演習 C 情報資源組織論 情報サービス演習 A 情報サービス演習 B 情報サービス演習 C	兼任	准教授	松山 巖 ＜令和5年4月＞ 教育学修士※ 学校図書館メディアの構成 児童サービス論 図書・図書館史 図書館概論 図書館サービス概論 図書館施設論 図書館情報技術論 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論 図書館制度・経営論 情報資源組織演習 A 情報資源組織演習 B 情報資源組織演習 C 情報資源組織論 情報サービス演習 B 情報サービス演習 C	兼任	教授	松山 巖 ＜令和5年4月＞ 教育学修士※ 学校図書館メディアの構成 児童サービス論 図書・図書館史 図書館概論 図書館サービス概論 図書館施設論 図書館情報技術論 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論 図書館制度・経営論 情報資源組織演習 A 情報資源組織演習 B 情報資源組織演習 C 情報資源組織論 情報サービス演習 C			
兼任	准教授	宮崎 真由 ＜令和5年4月＞ 修士(学術)※ 修士(法学) 市民社会と法 日本語表現 101 日本語表現 102	兼任	准教授	宮崎 真由 ＜令和5年4月＞ 修士(学術)※ 修士(法学) 市民社会と法 日本語表現 101	兼任	准教授	宮崎 真由 ＜令和5年4月＞ 修士(学術)※ 修士(法学) 市民社会と法			
兼任	准教授	武藤 ゆみ子 ＜令和6年4月＞ 博士(理学) 数理・データサイエンス・AIリテラシー	兼任	准教授	武藤 ゆみ子 ＜令和6年4月＞ 博士(理学) 数理・データサイエンス・AIリテラシー	兼任	准教授	武藤 ゆみ子 ＜令和6年4月＞ 博士(理学) 数理・データサイエンス・AIリテラシー			
兼任	准教授	村井 伸二 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学) ビブリアー TAP7アシレーション I 野外教育 生涯学習と生涯教育 社会教育経営論 A 社会教育経営論 B	兼任	准教授	村井 伸二 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学) ビブリアー TAP7アシレーション I フィールドワーク A フィールドワーク B フィールドワーク C 野外教育 生涯学習と生涯教育 社会教育経営論 A	兼任	准教授	村井 伸二 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学) ビブリアー TAP7アシレーション I 野外教育 生涯学習と生涯教育 社会教育経営論 A 生涯学習支援論 B			
兼任	准教授	山田 深雪 ＜令和8年4月＞ 修士(教育学) 教育実習(副)	兼任	准教授	山田 深雪 ＜令和8年4月＞ 修士(教育学) 博士(教育学) 教育実習(副) 教育インターンシップ B 教育インターンシップ C 教育インターンシップ D	兼任	准教授	山田 深雪 ＜令和8年4月＞ 修士(教育学) 博士(教育学)			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	YOJOBO YURI JODY (祐乗坊 由利) <令和5年4月> Master of Education (米国) BELF 初級	兼任	准教授	YOJOBO YURI JODY (祐乗坊 由利) <令和5年4月> Master of Education (米国)	兼任	准教授	YOJOBO YURI JODY (祐乗坊 由利) <令和5年4月> Master of Education (米国) BELF 初級 ELF Communication for Teachers ELF Foundation (B)			
兼任	准教授	ANDREW ROBERT IAN LEICHSENRING (LEICHSENRING ANDREW ROBERT IAN) <令和5年4月> Doctor of Philosophy (オーストラリア) BELF 初級 BELF 初中級	兼任	准教授	ANDREW ROBERT IAN LEICHSENRING (LEICHSENRING ANDREW ROBERT IAN) <令和5年4月> Doctor of Philosophy (オーストラリア) ELF Introduction (A) BELF 初級 BELF 初中級	兼任	准教授	LEICHSENRING Andrew (LEICHSENRING Andrew Robert Ian) <令和5年4月> Doctor of Philosophy (オーストラリア) ELF Introduction (A) BELF 初級 BELF 初中級 ELF & Global Leadership (A)			
兼任	講師	朝山 芳弘 <令和6年4月> 博士(学術) 学士(理学) 確率統計学Ⅰ	兼任	講師	朝山 芳弘 <令和6年4月> 博士(学術) 学士(理学) 確率統計学Ⅰ						
兼任	講師	油川(金子) さゆり <令和5年4月> 修士(教育学) コミュニケーション論									
兼任	講師	岡田 直丈 <令和5年4月> 修士(組織神学)※ 初級数学	兼任	講師	岡田 直丈 <令和5年4月> 修士(組織神学)※ 初級数学	兼任	講師	岡田 直丈 <令和5年4月> 修士(組織神学)※ 初級数学			
兼任	講師	尾関 はゆみ <令和6年4月> 修士(英語教育) 名著講読(人文科学) 名著講読(社会科学) 異文化理解と教育	兼任	講師	尾関 はゆみ <令和6年4月> 修士(英語教育) 名著講読(人文科学) 名著講読(社会科学)						
兼任	講師	佐々木 弘志 <令和6年4月> 修士(社会学) 学士(経済学) 国際関係論	兼任	講師	佐々木 弘志 <令和6年4月> 修士(社会学)※ 学士(経済学) 国際関係論	兼任	講師	佐々木 弘志 <令和6年4月> 修士(社会学)※ 学士(経済学) 国際関係論			
兼任	講師	武内(坂尾) 麻美 <令和5年4月> 修士(教育学) 健康スポーツ理論 スポーツ史									
兼任	講師	寺田 佐恵子 <令和5年4月> 博士(理学) 修士(農学) 生物学入門	兼任	講師	寺田 佐恵子 <令和5年4月> 博士(理学) 修士(農学) 生物学入門						
兼任	講師	中田 知宏 <令和5年4月> 博士(芸術学) 人文科学アカデミックス(リーディング)	兼任	講師	中田 知宏 <令和5年4月> 博士(芸術学) 人文科学アカデミックス(リーディング)	兼任	講師	中田 知宏 <令和5年4月> 博士(芸術学) 人文科学アカデミックス(リーディング)			
兼任	講師	水地 良明 <令和5年4月> 博士(工学) 自然科学アカデミックス(ライディング) 複合領域研究 201～299	兼任	講師	水地 良明 <令和5年4月> 博士(工学) 複合領域研究 201～299	兼任	講師	水地 良明 <令和5年4月> 博士(工学) 人工知能と社会			
兼任	講師	山田(バトリカリス) 亜紀 <令和7年4月> Ph.D.in Education (米国) 修士(アメリカ研究) Modern Japanese History	兼任	講師	山田(バトリカリス) 亜紀 <令和7年4月> Ph.D.in Education (米国) 修士(アメリカ研究) Modern Japanese History	兼任	准教授	山田(原野) 亜紀 <令和7年4月> Ph.D.in Education (米国) 修士(アメリカ研究) Modern Japanese History			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	山田 徹志 <令和5年4月> 博士(工学) 修士(教育学)	兼任	講師	山田 徹志 <令和5年4月> 博士(工学) 修士(教育学)	兼任	准教授	山田 徹志 <令和5年4月> 博士(工学) 修士(教育学)			山田 徹志 <令和5年4月> 博士(工学) 修士(教育学)			
		教育インターンシップ B 教育インターンシップ C 教育インターンシップ D			名著講読(自然科学) インターンシップ A インターンシップ B インターンシップ C インターンシップ D			名著講読(自然科学) インターンシップ A インターンシップ B インターンシップ C インターンシップ D						
			兼任	教授	楓川(須田) 祥世 <令和5年4月> 博士(学術)		兼任	教授			楓川(須田) 祥世 <令和5年4月> 博士(学術)			
					言語心理学						言語心理学			
			兼任	教授	COTE Travis <令和5年4月> 英語教授法(TESOL)修士(米)									
					ELF Foundation (B) ELF & Global Communication (A) ELF Academic Literacy 中級									
			兼任	教授	杉山 倫也 <令和5年4月> 修士(文学)※		兼任	教授			杉山 倫也 <令和5年4月> 修士(文学)※			
					教職概論						教職概論			
			兼任	教授	中村 哲 <令和5年4月> 修士(観光学)※		兼任	教授			中村 哲 <令和5年4月> 修士(観光学)※			
					SAE(海外留学・研修)プログラム A SAE(海外留学・研修)プログラム B SAE(海外留学・研修)プログラム C SAE(海外留学・研修)プログラム D SAE(海外留学・研修)プログラム E SAE(海外留学・研修)プログラム F SAE(海外留学・研修)プログラム G SAE(海外留学・研修)プログラム H SAE(海外留学・研修)プログラム I SAE(海外留学・研修)プログラム J						SAE(海外留学・研修)プログラム A SAE(海外留学・研修)プログラム B SAE(海外留学・研修)プログラム C SAE(海外留学・研修)プログラム D SAE(海外留学・研修)プログラム E SAE(海外留学・研修)プログラム F SAE(海外留学・研修)プログラム G SAE(海外留学・研修)プログラム H SAE(海外留学・研修)プログラム I SAE(海外留学・研修)プログラム J			
			兼任	教授	野本 由紀夫 <令和5年4月> 芸術学修士		兼任	教授			野本 由紀夫 <令和5年4月> 芸術学修士			
					人文科学プログラム「ミナミナリス」(ライティング)						人文科学プログラム「ミナミナリス」(ライティング)			
			兼任	教授	山田 信幸 <令和5年4月> 教育学修士		兼任	教授			山田 信幸 <令和5年4月> 教育学修士			
					健康教育						健康教育			
			兼任	教授	湯藤 定宗 <令和5年4月> 修士(教育学)※		兼任	教授			湯藤 定宗 <令和5年4月> 修士(教育学)※			
					教育の制度と経営 教育関係組織成論						教育の制度と経営 教育関係組織成論			
			兼任	教授	渡辺 明子 <令和5年4月> 芸術学修士									
					玉川の行事・式典 A 玉川の行事・式典 B 玉川の行事・式典 C									
			兼任	准教授	小島(宮崎) 佐恵子 <令和5年4月> 修士(文学)※		兼任	教授			小島(宮崎) 佐恵子 <令和5年4月> 修士(文学)※			
					社会科学プログラム「ミナミナリス」(ライティング) 社会科学プログラム「ミナミナリス」(リーディング)						社会科学プログラム「ミナミナリス」(ライティング) 社会科学プログラム「ミナミナリス」(リーディング)			
			兼任	准教授	成川 敦子 <令和5年4月> 博士(教育学)		兼任	教授			成川 敦子 <令和5年4月> 博士(教育学)			
					特別支援教育						特別支援教育			
			兼任	准教授	船戸 はるな <令和5年4月> 博士(人文科学)		兼任	准教授			船戸 はるな <令和5年4月> 博士(人文科学)			
					日本語教育概論						日本語表現 102			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	浅尾 慶一郎 ＜令和5年4月＞ Master of Business Administration (米国) 法学士 政治学 (国際政治を含む。) ポリアイタル・サイエンス	兼任	講師	浅尾 慶一郎 ＜令和5年4月＞ Master of Business Administration (米国) 法学士 政治学 (国際政治を含む。)									
兼任	講師	飯田 隆一 ＜令和7年4月＞ 博士 (学術) 学士 (教育学) 木材加工	兼任	講師	飯田 隆一 ＜令和7年4月＞ 博士 (学術) 学士 (教育学) 木材加工	兼任	講師	飯田 隆一 ＜令和7年4月＞ 博士 (学術) 学士 (教育学) 木材加工						
兼任	講師	上岡 真紀子 ＜令和5年4月＞ 修士 (図書館・情報学) ※ 文学士 情報サービス論	兼任	講師	上岡 真紀子 ＜令和5年4月＞ 修士 (図書館・情報学) ※ 文学士 情報サービス論 情報サービス演習 A	兼任	講師	上岡 真紀子 ＜令和5年4月＞ 修士 (図書館・情報学) ※ 文学士 情報サービス論 情報サービス演習 A 情報サービス演習 B						
兼任	講師	江藤 圭也 ＜令和5年4月＞ 修士 (経済学) ※ 経済学 (国際経済を含む。)	兼任	講師	江藤 圭也 ＜令和5年4月＞ 修士 (経済学) ※ 経済学 (国際経済を含む。)	兼任	講師	江藤 圭也 ＜令和5年4月＞ 修士 (経済学) ※ 経済学 (国際経済を含む。)						
兼任	講師	大内 (赤木) 啓子 ＜令和6年4月＞ 工学修士 色彩デザイン学	兼任	講師	大内 (赤木) 啓子 ＜令和6年4月＞ 工学修士 色彩デザイン学	兼任	講師	大内 (赤木) 啓子 ＜令和6年4月＞ 工学修士 色彩デザイン学						
兼任	講師	大久保 悠貴 ＜令和5年4月＞ 修士 (法学) ※ 日本国憲法	兼任	講師	大久保 悠貴 ＜令和5年4月＞ 修士 (法学) ※ 日本国憲法									
兼任	講師	大崎 恒次 ＜令和5年4月＞ 博士 (経営学) マーケティング	兼任	講師	大崎 恒次 ＜令和5年4月＞ 博士 (経営学) マーケティング	兼任	講師	大崎 恒次 ＜令和5年4月＞ 博士 (経営学) マーケティング						
兼任	講師	大嶋 一夫 ＜令和7年4月＞ 理学士 教職演習 A	兼任	講師	大嶋 一夫 ＜令和7年4月＞ 理学士 教職演習 A	兼任	講師	大嶋 一夫 ＜令和7年4月＞ 理学士 教職演習 A						
兼任	講師	大橋 隆弘 ＜令和7年4月＞ 博士 (工学) モデリングとシミュレーション デジタル生産加工	兼任	講師	大橋 隆弘 ＜令和7年4月＞ 博士 (工学) モデリングとシミュレーション デジタル生産加工	兼任	講師	大橋 隆弘 ＜令和7年4月＞ 博士 (工学) モデリングとシミュレーション デジタル生産加工						
兼任	講師	川崎 敏治 ＜令和6年4月＞ 博士 (理学) 微分方程式 I	兼任	講師	川崎 敏治 ＜令和6年4月＞ 博士 (理学) 微分方程式 I									
兼任	講師	木内 真人 ＜令和6年4月＞ 博士 (理学) 学士 (工学) 宇宙科学 地球科学												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	北岡 タマ子 ＜令和6年4月＞ 修士(コミュニティ振興学) 学士(教養) 博物館情報・メディア論	兼任	講師	北岡 タマ子 ＜令和6年4月＞ 修士(コミュニティ振興学) 学士(教養) 博物館情報・メディア論	兼任	講師	北岡 タマ子 ＜令和6年4月＞ 修士(コミュニティ振興学) 学士(教養) 博物館情報・メディア論						
兼任	講師	草本 海郎 ＜令和5年4月＞ 博士(造形) デザイン・イン・エス入門 (デザイン史を含む)※	兼任	講師	草本 海郎 ＜令和5年4月＞ 博士(造形) デザイン・イン・エス入門 (デザイン史を含む)※	兼任	講師	草本 海郎 ＜令和5年4月＞ 博士(造形) デザイン・イン・エス入門 (デザイン史を含む)※						
兼任	講師	後藤 博史 ＜令和6年4月＞ 工学士 工業科指導法Ⅰ 工業科指導法Ⅱ	兼任	講師	後藤 博史 ＜令和6年4月＞ 工学士 工業科指導法Ⅰ 工業科指導法Ⅱ	兼任	講師	後藤 博史 ＜令和6年4月＞ 工学士 工業科指導法Ⅰ 工業科指導法Ⅱ						
兼任	講師	小沼 明生 ＜令和5年4月＞ 博士(史学) 歴史(世界)	兼任	講師	小沼 明生 ＜令和5年4月＞ 博士(史学) 歴史(世界) 自然科学7分野シナリオズ(ライティング) 自然科学7分野シナリオズ(リーディング)	兼任	講師	小沼 明生 ＜令和5年4月＞ 博士(史学) 歴史(世界) 自然科学7分野シナリオズ(ライティング) 自然科学7分野シナリオズ(リーディング)						
兼任	講師	小林 正幸 ＜令和5年4月＞ 修士(社会学)※ 学士(哲学) マスメディアと社会	兼任	講師	小林 正幸 ＜令和5年4月＞ 修士(社会学)※ 学士(哲学) 社会学 マスメディアと社会	兼任	講師	小林 正幸 ＜令和5年4月＞ 修士(社会学)※ 学士(哲学) 社会学 マスメディアと社会						
兼任	講師	佐藤 修 ＜令和6年4月＞ 工学士 技術科指導法Ⅰ 技術科指導法Ⅱ 技術科指導法Ⅲ 技術科指導法Ⅳ	兼任	講師	佐藤 修 ＜令和6年4月＞ 工学士 技術科指導法Ⅰ 技術科指導法Ⅱ 技術科指導法Ⅲ 技術科指導法Ⅳ	兼任	講師	佐藤 修 ＜令和6年4月＞ 工学士 技術科指導法Ⅰ 技術科指導法Ⅱ 技術科指導法Ⅲ 技術科指導法Ⅳ						
兼任	講師	杉崎 えり子 ＜令和5年4月＞ 博士(工学) ネットワーク入門												
兼任	講師	杉本 ゆか ＜令和5年4月＞ 修士(文学) 学校経営と学校図書館 読書と豊かな人間性 学習指導と学校図書館												
兼任	講師	角 茂樹 ＜令和8年4月＞ Diploma for Social Studies(英国) East Asian History	兼任	講師	角 茂樹 ＜令和8年4月＞ Diploma for Social Studies(英国) East Asian History	兼任	講師	角 茂樹 ＜令和8年4月＞ Diploma for Social Studies(英国) East Asian History						
兼任	講師	谷田 多賀代 ＜令和5年4月＞ 文学修士※ 外国文学	兼任	講師	谷田 多賀代 ＜令和5年4月＞ 文学修士※ 外国文学	兼任	講師	谷田 多賀代 ＜令和5年4月＞ 文学修士※ 外国文学						
兼任	講師	谷村 英洋 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※ 教育社会学	兼任	講師	谷村 英洋 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※ 教育社会学	兼任	講師	谷村 英洋 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※ 教育社会学						
兼任	講師	田原(増田) 加奈子 ＜令和5年4月＞ 修士(文学) 日本文学	兼任	講師	田原(増田) 加奈子 ＜令和5年4月＞ 修士(文学) 博士(文学) 日本文学	兼任	講師	田原(増田) 加奈子 ＜令和5年4月＞ 修士(文学) 博士(文学) 日本文学						
兼任	講師	千葉 吉裕 ＜令和7年4月＞ 理学修士 職業指導(工業)Ⅰ 職業指導(工業)Ⅱ	兼任	講師	千葉 吉裕 ＜令和7年4月＞ 理学修士 職業指導(工業)Ⅰ 職業指導(工業)Ⅱ	兼任	講師	千葉 吉裕 ＜令和7年4月＞ 理学修士 職業指導(工業)Ⅰ 職業指導(工業)Ⅱ						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	常岡(倉橋) 亜希子 ＜令和5年4月＞ M.A. in TESOL (米国)	兼任	講師	常岡(倉橋) 亜希子 ＜令和5年4月＞ M.A. in TESOL (米国)	兼任	講師	常岡(倉橋) 亜希子 ＜令和5年4月＞ M.A. in TESOL (米国)						
		英語学			英語学			英語学						
兼任	講師	富澤(島田) 美千子 ＜令和5年4月＞ 博士(文学) 修士(人間科学)	兼任	講師	富澤(島田) 美千子 ＜令和5年4月＞ 博士(文学) 修士(人間科学)	兼任	講師	富澤(島田) 美千子 ＜令和5年4月＞ 博士(文学) 修士(人間科学)						
		総合的な学習の時間の理論と方法			総合的な学習の時間の理論と方法			総合的な学習の時間の理論と方法						
兼任	講師	長江 清和 ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)												
		特別支援教育												
兼任	講師	長尾 幸治 ＜令和5年4月＞ 博士(美術)	兼任	講師	長尾 幸治 ＜令和5年4月＞ 博士(美術)	兼任	講師	長尾 幸治 ＜令和5年4月＞ 博士(美術)						
		デザインサイエンス演習 (デザインを含む)※			デザインサイエンス演習 (デザインを含む)※			デザインサイエンス演習 (デザインを含む)※						
兼任	講師	中里 亮平 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)	兼任	講師	中里 亮平 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)	兼任	講師	中里 亮平 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)						
		歴史(日本)			文化人類学 歴史(日本)			文化人類学 歴史(日本)						
兼任	講師	浜本 滋 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)	兼任	講師	浜本 滋 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)	兼任	講師	浜本 滋 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)						
		メカニクス(流体)			メカニクス(流体)			メカニクス(流体)						
兼任	講師	藤谷 哲 ＜令和8年4月＞ 博士(工学)	兼任 教授	藤谷 哲 ＜令和8年4月＞ 博士(工学)	兼任 教授	藤谷 哲 ＜令和8年4月＞ 博士(工学)								
		教職演習 B			教職演習 B			教職演習 B						
兼任	講師	古性(江連) 淑子 ＜令和5年4月＞ 修士(情報科学) 修士(大学アドミニストレーション)	兼任	講師	古性(江連) 淑子 ＜令和5年4月＞ 修士(情報科学) 修士(大学アドミニストレーション)	兼任	講師	古性(江連) 淑子 ＜令和5年4月＞ 修士(情報科学) 修士(大学アドミニストレーション)						
		情報メディアの活用			情報メディアの活用			情報メディアの活用						
兼任	講師	宮澤 義臣 ＜令和5年4月＞ 文学修士	兼任	講師	宮澤 義臣 ＜令和5年4月＞ 文学修士	兼任	講師	宮澤 義臣 ＜令和5年4月＞ 文学修士						
		ドイツ語 101 ドイツ語 102			ドイツ語 101 ドイツ語 102			ドイツ語 101 ドイツ語 102						
兼任	講師	宮永 望 ＜令和5年4月＞ 修士(理学)※	兼任	講師	宮永 望 ＜令和5年4月＞ 修士(理学)※	兼任	講師	宮永 望 ＜令和5年4月＞ 修士(理学)※						
		数学演習			数学入門 数学演習			数学入門 数学演習						
兼任	講師	目黒(花川) ゆりえ ＜令和5年4月＞ 修士(フランス文学)	兼任	講師	目黒(花川) ゆりえ ＜令和5年4月＞ 修士(フランス文学)	兼任	講師	目黒(花川) ゆりえ ＜令和5年4月＞ 修士(フランス文学)						
		フランス語 101 フランス語 102			フランス語 101 フランス語 102			フランス語 101 フランス語 102						
兼任	講師	茂木 輝順 ＜令和6年4月＞ 博士(保健学) 修士(教育学)	兼任	講師	茂木 輝順 ＜令和6年4月＞ 博士(保健学) 修士(教育学)									
		生命と性の教育			生命と性の教育									
兼任	講師	矢ヶ崎 朋樹 ＜令和5年4月＞ 博士(環境学)	兼任	講師	矢ヶ崎 朋樹 ＜令和5年4月＞ 博士(環境学)	兼任	講師	矢ヶ崎 朋樹 ＜令和5年4月＞ 博士(環境学)						
		環境科学 環境教育ワークショップ I 環境教育ワークショップ II			環境科学			環境科学						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	山科 直子 ＜令和6年4月＞ Doctor in Philosophy(英国)	兼任	講師	山科 直子 ＜令和6年4月＞ Doctor in Philosophy(英国)	兼任	講師	山科 直子 ＜令和6年4月＞ Doctor in Philosophy(英国)						
		科学史 科学技術社会論			科学史 科学技術社会論			科学史 科学技術社会論						
兼任	講師	山本 靖樹 ＜令和7年4月＞ 経済学士	兼任	講師	山本 靖樹 ＜令和7年4月＞ 経済学士	兼任	講師	山本 靖樹 ＜令和7年4月＞ 経済学士						
		都市環境デザイン			都市環境デザイン			都市環境デザイン						
兼任	講師	吉武 光雄 ＜令和5年4月＞ 修士(哲学)※	兼任	講師	吉武 光雄 ＜令和5年4月＞ 修士(哲学)※	兼任	講師	吉武 光雄 ＜令和5年4月＞ 修士(哲学)※						
		倫理学			倫理学			倫理学						
兼任	講師	吉見 江利 ＜令和6年4月＞ 修士(人文科学)	兼任	講師	吉見 江利 ＜令和6年4月＞ 修士(人文科学)	兼任	講師	吉見 江利 ＜令和6年4月＞ 修士(人文科学)						
		生涯学習支援論 A			生涯学習支援論 A			生涯学習支援論 A						
兼任	講師	米田 充彦 ＜令和7年4月＞ 高等専門学校卒	兼任	講師	米田 充彦 ＜令和7年4月＞ 高等専門学校卒									
		デザイン思考			デザイン思考									
			兼任	講師	江原 清浩 ＜令和5年4月＞ 修士(体育科学)	兼任	講師	江原 清浩 ＜令和5年4月＞ 修士(体育科学)						
					健康スポーツ理論			健康スポーツ理論						
			兼任	講師	岡元 太郎 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)	兼任	講師	岡元 太郎 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)						
					地球科学			地球科学						
			兼任	講師	金 幸都 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)	兼任	講師	金 幸都 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)						
					情報倫理と社会			情報倫理と社会						
			兼任	講師	古泉 佳代 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)	兼任	講師	古泉 佳代 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)						
					栄養学			栄養学						
			兼任	講師	近 裕一 ＜令和5年4月＞ 政治学修士※	兼任	講師	近 裕一 ＜令和5年4月＞ 政治学修士※						
					ポリティカルサイエンス			政治学(国際政治を含む。) ポリティカルサイエンス						
			兼任	講師	白勢(浦邊) 美咲 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)(米) Post-Master's Advanced Certificate Program in TESOL(米)									
					ELF Foundation (C)									
			兼任	講師	鈴木 秀順 ＜令和5年4月＞ 修士(経営学)	兼任	講師	鈴木 秀順 ＜令和5年4月＞ 修士(経営学) 博士(ソフトウェア情報学)						
					マルチメディア表現			マルチメディア表現						
			兼任	講師	高柳 克弘 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)									
					日本語表現102									
			兼任	講師	田中(小野寺) 俊介 ＜令和5年4月＞ 修士(工学)	兼任	講師	田中(小野寺) 俊介 ＜令和5年4月＞ 修士(工学)						
					ネットワーク入門			ネットワーク入門						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任 講師		目黒 拓也 <令和5年4月> 博士(文学) スポーツ史									
			兼任 講師		吉川 真 <令和5年4月> 理学博士 宇宙科学									
			兼任 講師		吉澤 小百合 <令和5年4月> 修士(図書館・情報学) 学校経営と学校図書館 読書と豊かな人間性 学習指導と学校図書館									
						兼任 講師		伊藤 光雅 <令和6年4月> 博士(理学) 物理学I						
						兼任 講師		江下 和章 <令和6年4月> 博士(理学) 微分方程式I						
						兼任 講師		貴 美蘭 <令和6年4月> 博士(人文科学) 日本語教育概論						
						兼任 講師		田中(賢藤) 藍澄 <令和6年4月> 修士(教育学) BELF 上級						
						兼任 講師		中島 充雄 <令和6年4月> 学士(工学) デザイン思考						
						兼任 講師		BRAZHNIKOVAITSY RIZOVA Violetta <令和6年4月> Ph.D. in Humanities (スペイン) スペイン語 101 スペイン語 102						
						兼任 講師		光武 智美 <令和6年4月> 博士(健康科学) 生命と性の教育						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実外)、兼任、兼担の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

＜専任教員＞

- 木村 仁(教授)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「玉川の教育」の担当者を水野 貴敏(准教授)から変更
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「STEM入門(科学と社会)」の担当者を早川博章(兼任准教授)から変更
- 水野 貴敏(准教授)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「玉川の教育」の担当者を木村 仁(教授)に変更
- 平社 和也(講師)
- ・受講者数との関係による開講クラス減に伴い、100番台科目「プログラミングI」を担当科目から削除

＜兼任教員＞

- 大谷千恵(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムA」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムB」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムC」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムD」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムE」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムF」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムG」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムH」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムI」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムJ」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「異文化理解と教育」の担当者を尾関 はゆみ(兼任講師)から変更
- 鎌田 伸尚(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)人文科学科目群「文化人類学」の担当者を中里 亮平(兼任講師)に変更
- 川崎 登志喜(兼任教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「生涯スポーツ演習」の担当者を三橋 綾子(兼任講師)に変更
- 日下 芳朗(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「数学入門」の担当者を宮永 望(兼任講師)に変更
- 小酒井 正和(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「自然科学アカデミックス(リーディング)」の担当者を小沼 明生(兼任講師)に変更
- 坂野 慎二(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教育の制度と経営」の担当者を湯藤 定宗(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教育課程編成論」の担当者を湯藤 定宗(兼任教授)に変更
- 佐久間 裕之(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教育哲学」の担当者を山口 圭介(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教職概論」の担当者を杉山 倫也(兼任教授)に変更
- 笹井 宏益(兼任教授)
- ・教育内容の充実を図るため、資格関連科目群「社会教育経営論B」の担当者を村井 伸二(兼任准教授)から変更
- 高橋(立花) 愛(兼任教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)人文科学科目群「人文科学アカデミックス(ライティング)」の担当者を野本 由紀夫(兼任教授)に変更
- ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群「プレゼンテーションスキル」の担当者として追加
- 永井 悦子(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「フィールドワークA」の担当者を村井 伸二(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「フィールドワークB」の担当者を村井 伸二(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「フィールドワークC」の担当者を村井 伸二(兼任准教授)に変更
- 中嶋(福嶋) 真美(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「社会学」の担当者を小林 正幸(兼任講師)に変更
- 山口 圭介(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教育哲学」の担当者を佐久間 裕之(兼任教授)から変更
- 山崎 浩一(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「情報倫理と社会」の担当者を金 宰郁(兼任講師)に変更
- 市川 直子(兼任准教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「名著講読(自然科学)」の担当者を山田 徹志(兼任講師)に変更
- 岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (A)」の担当者を黒嶋(宮崎) 智美(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (B)」の担当者を中村 幸子(兼任講師)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (C)」の担当者を黒嶋(宮崎) 智美(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Communication for Teachers」の担当者をDIMOSKI Blagoja(兼任准教授)から変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (A)」の担当者をDIMOSKI Blagoja(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (B)」の担当者をMATIKAINEN Johanna Tiina(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (C)」の担当者をMATIKAINEN Johanna Tiina(兼任准教授)に変更
- 黒嶋(宮崎) 智美(兼任准教授)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (A)」の担当者を岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)から変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (C)」の担当者を岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)から変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF & Global Communication (A)」の担当者をCOTE Travis(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Academic Literacy 中級」の担当者をCOTE Travis(兼任教授)に変更
- GOTTARDO Marco(兼任准教授)
- ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、担当科目にUS科目(全学共通科目)学際科目群「学際アカデミックス(リーディング)」を追加
- 下村 恭広(兼任准教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターシップA」の担当者を山田 徹志(兼任講師)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターシップB」の担当者を山田 徹志(兼任講師)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターシップC」の担当者を山田 徹志(兼任講師)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターシップD」の担当者を山田 徹志(兼任講師)に変更
- 鈴木 淳也(兼任准教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「健康教育」の担当者を山田 信幸(兼任教授)に変更
- 立野 貴之(兼任准教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「マルチメディア表現」の担当者を鈴木 秀顕(兼任講師)に変更
- 高城 宏行(兼任准教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「コミュニケーション論」の担当者を油川(金子) さゆり(兼任講師)から変更
- CHAIKUL Rasami(兼任准教授)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (B)」の担当者をKIM Miso(兼任講師)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (C)」の担当者をKIM Miso(兼任講師)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「BELF初級」の担当者をYOJOBO YURI JODY(祐乗坊 由利)(兼任准教授)から変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (B)」の担当者をCOTE Travis(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (C)」の担当者を白勢(浦邊) 美咲(兼任講師)に変更

○DIMOSKI Blagoja(兼任准教授)

・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Communication for Teachers」の担当者を岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)に変更

・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (A)」の担当者を岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)から変更

○早川 博章(兼任准教授)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「STEM入門(科学と社会)」の担当者を木村 仁(教授)に変更

○松山 巖(兼任准教授)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「情報サービス演習A」の担当者を上岡 真紀子(兼任講師)に変更

○宮崎 真由(兼任准教授)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「日本語表現102」の担当者を高柳 克弘(兼任講師)に変更

○村井 伸二(兼任准教授)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「フィールドワークA」の担当者を永井 悦子(兼任教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「フィールドワークB」の担当者を永井 悦子(兼任教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「フィールドワークC」の担当者を永井 悦子(兼任教授)から変更

・教育内容の充実を図るため、資格関連科目群「社会教育経営論 B」の担当者を笹井 宏益(兼任教授)に変更

○山田 深雪(兼任准教授)

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育インターンシップ B」の担当者を山田 徹志(兼任講師)から変更

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育インターンシップ C」の担当者を山田 徹志(兼任講師)から変更

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育インターンシップ D」の担当者を山田 徹志(兼任講師)から変更

○YOJOBO YURI JODY(祐乗坊 由利)(兼任准教授)

・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「BELF初級」の担当者をCHAIKUL Rasami(兼任准教授)に変更

○LEICHSENRING ANDREW ROBERT IAN(兼任准教授)

・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (A)」の担当者として追加

○油川(金子) さゆり(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「コミュニケーション論」の担当者を高城 宏行(兼任准教授)に変更

○尾関 はゆみ(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「異文化理解と教育」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)に変更

○武内(坂尾) 麻美(兼任講師)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「健康スポーツ理論」の担当者を江原 清浩(兼任講師)に変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「スポーツ史」の担当者を目黒 拓也(兼任講師)に変更

○水地 良明(兼任講師)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「自然科学アカデミックスキルズ(ライティング)」の担当者を小沼 明生(兼任講師)に変更

○山田 徹志(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「名著講読(自然科学)」の担当者を市川 直子(兼任准教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターンシップA」の担当者を下村 恭広(兼任准教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターンシップB」の担当者を下村 恭広(兼任准教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターンシップC」の担当者を下村 恭広(兼任准教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターンシップD」の担当者を下村 恭広(兼任准教授)から変更

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育インターンシップ B」の担当者を山田 深雪(兼任准教授)に変更

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育インターンシップ C」の担当者を山田 深雪(兼任准教授)に変更

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育インターンシップ D」の担当者を山田 深雪(兼任准教授)に変更

<兼任教員>

○浅尾慶一郎(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「ポリティカル・サイエンス」の担当者を近 裕一(兼任講師)に変更

○木内 真人(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「宇宙科学」の担当者を吉川 真(兼任講師)に変更

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「地球科学」の担当者を岡元 太郎(兼任講師)に変更

○上岡 真紀子(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「情報サービス演習A」の担当者を松山 巖(兼任准教授)から変更

○小沼 明生(兼任講師)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「自然科学アカデミックスキルズ(ライティング)」の担当者を水地 良明(兼任講師)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「自然科学アカデミックスキルズ(リーディング)」の担当者を小酒井 正和(兼任教授)から変更

○小林 正幸(兼任講師)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「社会学」の担当者を中嶋(福嶋) 真美(兼任教授)から変更

○杉崎 えり子(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「ネットワーク入門」の担当者を田中(小野寺) 俊介(兼任講師)に変更

○杉本 ゆか(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「学校経営と学校図書館」の担当者を吉澤 小百合(兼任講師)に変更

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「読書と豊かな人間性」の担当者を吉澤 小百合(兼任講師)に変更

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「学習指導と学校図書館」の担当者を吉澤 小百合(兼任講師)に変更

○長江 清和(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「特別支援教育」の担当者を成川 敦子(兼任准教授)に変更

○中里 亮平(兼任講師)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)人文科学科目群「文化人類学」の担当者を鎌田 伸尚(兼任教授)から変更

○宮永 望(兼任講師)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「数学入門」の担当者を日下 芳朗(兼任教授)から変更

○矢ヶ崎 朋樹(兼任講師)

・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、担当科目であるUS科目(全学共通科目)学際科目群「環境教育ワークショップI」を削除

・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、担当科目であるUS科目(全学共通科目)学際科目群「環境教育ワークショップII」を削除

【令和5年度追加】

<兼任教員>

○梶川(須田) 祥世(兼任教授)

・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)人文科学科目群「言語心理学」の担当者として追加

○COTE Travis(兼任教授)

・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (B)」の担当者をCHAIKUL Rasami(兼任准教授)から変更

・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF & Global Communication (A)」の担当者を黒嶋(宮崎) 智美(兼任准教授)から変更

・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Academic Literacy 中級」の担当者を黒嶋(宮崎) 智美(兼任准教授)から変更

○杉山 倫也(兼任教授)

・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教職概論」を佐久間 裕之(兼任教授)から変更

○中村 哲(兼任教授)

- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムA」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムB」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムC」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムD」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムE」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムF」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムG」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムH」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムI」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムJ」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更

○野本 由紀夫(兼任教授)

- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)人文科学科目群「人文科学アカデミックス(ライティング)」の担当者を高橋(立花) 愛(兼任教授)から変更

○山田 信幸(兼任教授)

- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「健康教育」の担当者を鈴木 淳也(兼任准教授)から変更

○湯藤 定宗(兼任教授)

- ・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教育の制度と経営」の担当者を坂野 慎二(兼任教授)から変更
- ・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教育課程編成論」の担当者を坂野 慎二(兼任教授)から変更

○渡辺明子(兼任教授)

- ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「玉川の行事・式典A」の担当者として追加
- ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「玉川の行事・式典B」の担当者として追加
- ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「玉川の行事・式典C」の担当者として追加

○小島(宮崎) 佐恵子(兼任准教授)

- ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「社会科学アカデミックス(ライティング)」の担当者として追加
- ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「社会科学アカデミックス(リサーチ)」の担当者として追加

○成川 敦子(兼任准教授)

- ・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「特別支援教育」の担当者を長江 清和(兼任講師)から変更

○船戸 はるな(兼任准教授)

- ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「日本語教育概論」の担当者として追加

○MATIKAINEN Johanna Tiina(兼任准教授)

- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (B)」の担当者を岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)から変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (C)」の担当者を岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)から変更

○KIM Miso(兼任講師)

- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (B)」の担当者をCHAIKUL Rasami(兼任准教授)から変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (C)」の担当者をCHAIKUL Rasami(兼任准教授)から変更

○中村 幸子(兼任講師)

- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (B)」の担当者を岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)から変更

○三橋 綾子(兼任講師)

- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「生涯スポーツ演習」の担当者を川崎 登志喜(兼任教授)から変更

＜兼任教員＞

○江原 清浩(兼任講師)

- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「健康スポーツ理論」の担当者を武内(坂尾) 麻美(兼任講師)から変更

○岡元 太郎(兼任講師)

- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「地球科学」の担当者を木内 真人(兼任講師)から変更

○金 宰郁(兼任講師)

- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「情報倫理と社会」の担当者を山崎 浩一(兼任教授)から変更

○古泉 佳代(兼任講師)

- ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群「栄養学」の担当者として追加

○近 裕一(兼任講師)

- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「ポリティカルサイエンス」の担当者を浅尾 慶一郎(兼任講師)から変更

○白勢(浦邊) 美咲(兼任講師)

- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (C)」の担当者をCHAIKUL Rasami(兼任准教授)から変更

○鈴木 秀顕(兼任講師)

- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「マルチメディア表現」の担当者を立野 貴之(兼任准教授)から変更

○高柳 克弘(兼任講師)

- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「日本語表現102」の担当者を宮崎 真由(兼任准教授)から変更

○田中(小野寺) 俊介(兼任講師)

- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「ネットワーク入門」の担当者を杉崎 えり子(兼任講師)から変更

○目黒 拓也(兼任講師)

- ・教育内体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「スポーツ史」の担当者を武内(坂尾) 麻美(兼任講師)から変更

○吉川 真(兼任講師)

- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「宇宙科学」の担当者を木内 真人(兼任講師)から変更

○吉澤 小百合(兼任講師)

- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「学校経営と学校図書館」の担当者を杉本 ゆか(兼任講師)から変更
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「読書と豊かな人間性」の担当者を杉本 ゆか(兼任講師)から変更
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「学習指導と学校図書館」の担当者を杉本 ゆか(兼任講師)から変更

【令和6年度】

＜専任教員＞

○川森 重弘(専任教授)

- ・専任教員の新規採用に伴い、200番台科目科目群「化学と環境」の担当者を長谷川 嘉代(専任講師)に変更

○木村 仁(専任教授)

- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群科目群「玉川の教育」の担当者を長谷川 嘉代(専任講師)に変更

○三林 洋介(専任教授)

- ・教職関連科目群のカリキュラム改編に伴い、教職関連科目群「教育実習(中学校・高等学校)」の担当者として追加
- ・教職関連科目群のカリキュラム改編に伴い、担当である教職関連科目群科目群「教育実習(中・高)」を削除
- ・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育インターンシップ B」の担当者を山田 深雪(兼任准教授)から変更
- ・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育インターンシップ C」の担当者を山田 深雪(兼任准教授)から変更
- ・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育インターンシップ D」の担当者を山田 深雪(兼任准教授)から変更

○水野 貴敏(専任准教授)

- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群科目群「一年次セミナー 101」の担当者を長谷川 嘉代(専任講師)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群科目群「一年次セミナー 102」の担当者を長谷川 嘉代(専任講師)に変更

【令和6年度追加】

- 引地 力男(専任教授)
- ・専任教員(教授)として新規採用
- ・専任教員の新規採用に伴い、100番台科目「デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)」の担当者として追加
- ・専任教員の新規採用に伴い、200番台科目「デジタルシズンシップ」の担当者を山崎 浩一(兼任教授)から変更
- ・専任教員の新規採用に伴い、200番台科目「デジタルアプリケーション入門」の担当者として追加
- ・教職関連科目群のカリキュラム改編に伴い、教職関連科目群「学校体験活動 A(中学校・高等学校)」の担当者として追加
- ・教職関連科目群のカリキュラム改編に伴い、教職関連科目群「学校体験活動 B(中学校・高等学校)」の担当者として追加
- ・教職関連科目群のカリキュラム改編に伴い、教職関連科目群「学校体験活動 C(中学校・高等学校)」の担当者として追加
- ・教職関連科目群のカリキュラム改編に伴い、教職関連科目群「学校体験活動 D(中学校・高等学校)」の担当者として追加
- ・教職関連科目群のカリキュラム改編に伴い、教職関連科目群「介護等体験」の担当者として追加
- 長谷川 嘉代(専任講師)
- ・専任教員(講師)として新規採用
- ・教育体制の充実を図るため、100番台科目「デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)」の担当者として追加
- ・専任教員の新規採用に伴い、200番台科目「デザインサイエンス実験」の担当者として追加
- ・専任教員の新規採用に伴い、200番台科目「スケッチ&ドラフティング」の担当者として追加
- ・専任教員の新規採用に伴い、200番台科目「メカニクス(材料)」の担当者として追加
- ・専任教員の新規採用に伴い、200番台科目「化学と環境」の担当者を川森 重弘(専任教授)から変更

＜兼任教員＞

- 小酒井 正和(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群科目群「人工知能と社会」の担当者を水地 良明(兼任講師)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群「複合領域研究 201～299」の担当者を水地 良明(兼任講師)から変更
- 笹井 宏益(兼任教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群科目群「生涯学習概論」の担当者を中村 香(兼任教授)に変更
- 佐藤(小島) 由紀(兼任教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群科目群「心理学」の担当者を小林 亮(兼任教授)に変更
- 朱 浩東(兼任教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)人文科学科目群「名著講読(人文科学)」の担当者を尾関 はゆみ(兼任講師)から変更
- 永井 悦子(兼任教授)
- ・プロジェクトの内容変更に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群科目群「地域創生プロジェクト A」の担当者を村越 亮治(兼任准教授)に変更
- ・プロジェクトの内容変更に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群科目群「地域創生プロジェクト B」の担当者を村越 亮治(兼任准教授)に変更
- ・プロジェクトの内容変更に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群科目群「地域創生プロジェクト C」の担当者を博多 哲也(兼任講師)に変更
- ・プロジェクトの内容変更に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群科目群「地域創生プロジェクト D」の担当者を博多 哲也(兼任講師)に変更
- ・プロジェクトの内容変更に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群科目群「地域創生プロジェクト E」の担当者を多和田 真太良(兼任准教授)に変更
- ・プロジェクトの内容変更に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群科目群「地域創生プロジェクト F」の担当者を多和田 真太良(兼任准教授)に変更
- 中村 香(兼任教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「生涯学習概論」の担当者を笹井 宏益(兼任教授)から変更
- 富士池 優美(兼任教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「日本語表現 101」の担当者を宮崎 真由(兼任准教授)から変更
- 宮田 成紀(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、100番台科目「物理学 I」の担当者として追加
- 山崎 浩一(兼任教授)
- ・専任教員の新規採用に伴い、200番台科目科目群「デジタルシズンシップ」の担当者を引地 力男(専任教授)に変更
- 市川 直子(兼任教授)【令和6年度兼任教授に変更】
- ・准教授から教授へ昇格
- 岡田 トリシャ(兼任准教授)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「ELF Communication for Teachers」の担当者をYOJOBO YURI JODY(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (C)」の担当者を白勢(浦邊) 美咲(兼任講師)から変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF & Global Communication (A)」の担当者をCOTE Travis(兼任教授)から変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF & Global Leadership (B)」の担当者を黒嶋(宮崎) 智美(兼任准教授)から変更
- 木内 正光(兼任教授)【令和6年度兼任教授に変更】
- ・准教授から教授へ昇格
- 川本 和孝(兼任准教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群科目群「生涯学習支援論 B」の担当者を村井 伸二(兼任准教授)に変更
- 黒嶋(宮崎) 智美(兼任准教授)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「ELF & Global Communication (B)」の担当者をKIM Miso(兼任講師)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「ELF & Global Leadership (A)」の担当者をLEICHSENRING Andrew(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「ELF & Global Leadership (B)」の担当者を岡田 トリシャ(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「ELF Academic Literacy 上級」の担当者をDIMOSKI Blagoja(兼任准教授)に変更
- 佐藤 雅俊(兼任教授)【令和6年度より兼任教授に変更】
- ・准教授から教授へ昇格
- 高城 宏行(兼任教授)【令和6年度兼任教授に変更】
- ・准教授から教授へ昇格
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラム A」の担当者を中村 哲(兼任教授)から変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラム B」の担当者を中村 哲(兼任教授)から変更
- 多和田 真太良(兼任准教授)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「玉川の行事・式典 A」の担当者を渡辺 明子(兼任教授)から変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「玉川の行事・式典 B」の担当者を渡辺 明子(兼任教授)から変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「玉川の行事・式典 C」の担当者を渡辺 明子(兼任教授)から変更
- ・プロジェクトの内容変更に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群「地域創生プロジェクト E」の担当者を永井 悦子(兼任教授)から変更
- ・プロジェクトの内容変更に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群「地域創生プロジェクト F」の担当者を永井 悦子(兼任教授)から変更
- CHAIKUL Rasami(兼任准教授)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「BELF 初級」の担当者をYOJOBO YURI JODY(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (B)」の担当者をCOTE Travis(兼任教授)から変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「BELF 初中級」の担当者をYOJOBO YURI JODY(兼任准教授)から変更
- DIMOSKI Blagoja(兼任准教授)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Academic Literacy 上級」の担当者を黒嶋(宮崎) 智美(兼任准教授)から変更
- 長谷川 英伸(兼任准教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群科目群「ユース・プログラム」の担当者を神谷 渉(兼任教授)に変更
- 松山 巖(兼任教授)【令和6年度より兼任教授に変更】
- ・准教授から教授へ昇格
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群科目群「情報サービス演習 B」の担当者を上岡 真紀子(兼任講師)に変更
- 宮崎 真由(兼任准教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「日本語表現 101」の担当者を富士池 優美(兼任教授)に変更

○村井 伸二(兼任准教授)
・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群科目群「フィールドワーク A」の担当者を青山 典靖(兼任教授)に変更
・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群科目群「フィールドワーク B」の担当者を青山 典靖(兼任教授)に変更
・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群科目群「フィールドワーク C」の担当者を青山 典靖(兼任教授)に変更
・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「生涯学習支援論 B」の担当者を川本 和孝(兼任准教授)から変更
○山田 深雪(兼任准教授)
・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群科目群「教育実習(副)」の担当者を小谷 恵津子(兼任教授)に変更
・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群科目群「教育インターンシップ B」の担当者を三林 洋介(専任教授)に変更
・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群科目群「教育インターンシップ C」の担当者を三林 洋介(専任教授)に変更
・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群科目群「教育インターンシップ D」の担当者を三林 洋介(専任教授)に変更
○YOJOBO YURI JODY(兼任准教授)
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「BELF 初級」の担当者をチャイクル ラサミ(兼任准教授)から変更
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Communication for Teachers」の担当者を岡田 トリシャ(兼任准教授)から変更
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (B)」の担当者をマティカイネン ティーナ(兼任准教授)から変更
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「BELF 初中級」の担当者をCHAIKUL Rasami(兼任准教授)に変更
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「BELF 中級」の担当者をMILLINER Brett(兼任准教授)に変更
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「BELF 上級」の担当者を田中 藍渚(兼任講師)に変更
○LEICHSENING Andrew(兼任准教授)
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF & Global Leadership (A)」の担当者を黒嶋(宮崎) 智美(兼任准教授)から変更
○朝山 芳弘(兼任講師)
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、200番台科目群「確率統計学 I」の担当者を折登 由希子(兼任准教授)に変更
○尾関 はゆみ(兼任講師)
・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)人文科学科目群科目群「名著講読(人文科学)」の担当者を朱 浩東(兼任教授)に変更
・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群科目群「名著講読(社会科学)」の担当者を関畑 崇之(兼任講師)に変更
○寺田 佐恵子(兼任講師)
・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群科目群「生物学入門」の担当者を原野 健一(兼任教授)に変更
○水地 良明(兼任講師)
・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「人工知能と社会」の担当者を小酒井 正和(兼任教授)から変更
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群科目群「複合領域研究 201～299」の担当者を小酒井 正和(兼任教授)に変更
○山田(原野) 亜紀(兼任准教授)【令和6年度より兼任准教授に変更】
・講師から准教授へ昇格
○山田 徹志(兼任准教授)【令和6年度より兼任准教授に変更】
・講師から准教授へ昇格
【令和5年度追加】
○COTE Travis(兼任教授)
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「ELF Foundation (B)」の担当者をCHAIKUL Rasami(兼任准教授)に変更
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「ELF & Global Communication (A)」の担当者を岡田 トリシャ(兼任准教授)に変更
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「ELF Academic Literacy 中級」の担当者をMILLINER Brett(兼任准教授)に変更
○中村 哲(兼任教授)
・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群科目群「SAE(海外留学・研修)プログラム A」の担当者を高城 宏行(兼任教授)に変更
・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群科目群「SAE(海外留学・研修)プログラム B」の担当者を高城 宏行(兼任教授)に変更
○渡辺 明子(兼任教授)
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群科目群「玉川の行事・式典 A」の担当者を多和田 真太良(兼任准教授)に変更
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群科目群「玉川の行事・式典 B」の担当者を多和田 真太良(兼任准教授)に変更
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群科目群「玉川の行事・式典 C」の担当者を多和田 真太良(兼任准教授)に変更
○小島(宮崎) 佐恵子(兼任教授)【令和6年度兼任教授に変更】
・准教授から教授へ昇格
○成川 敦子(兼任教授)【令和6年度より兼任教授に変更】
・准教授から教授へ昇格
○船戸 はるな(兼任准教授)
・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「日本語表現 102」の担当者を高柳 克弘(兼任講師)から変更
・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群科目群「日本語教育概論」の担当者を黄 美蘭(兼任講師)に変更
○MATIKAINEN Tiina(兼任准教授)
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「ELF Foundation (B)」の担当者をYOJOBO YURI JODY(兼任准教授)に変更
○KIM Miso(兼任講師)
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF & Global Communication (B)」の担当者を黒嶋(宮崎) 智美(兼任准教授)から変更
【令和6年度追加】
○青山 典靖(兼任教授)
・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「フィールドワーク A」の担当者を村井 伸二(兼任准教授)から変更
・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「フィールドワーク B」の担当者を村井 伸二(兼任准教授)から変更
・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「フィールドワーク C」の担当者を村井 伸二(兼任准教授)から変更
○神谷 渉(兼任教授)
・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「コア・プログラム」の担当者を長谷川 英伸(兼任准教授)から変更
○小谷 恵津子(兼任教授)
・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育実習(副)」の担当者を山田 深雪(兼任准教授)から変更
○小林 亮(兼任教授)
・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「心理学」の担当者を佐藤(小島) 由紀(兼任教授)から変更
○濱田 英毅(兼任教授)
・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、担当科目にUS科目(全学共通科目)学際科目群「キャリア実習 A」を追加
・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、担当科目にUS科目(全学共通科目)学際科目群「キャリア実習 B」を追加
・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、担当科目にUS科目(全学共通科目)学際科目群「キャリア実習 C」を追加
・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、担当科目にUS科目(全学共通科目)学際科目群「キャリア実習 D」を追加
○原野 健一(兼任教授)
・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「生物学入門」の担当者を寺田 佐恵子(兼任講師)から変更
○折登 由希子(兼任准教授)
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、200番台科目「確率統計学 I」の担当者を朝山 芳弘(兼任講師)から変更
○MILLINER Brett(兼任准教授)
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Academic Literacy 中級」の担当者をCOTE Travis(兼任教授)から変更
・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「BELF 中級」の担当者をYOJOBO YURI JODY(兼任准教授)から変更
○村越 亮治(兼任准教授)
・プロジェクトの内容変更に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群「地域創生プロジェクト A」の担当者を永井 悦子(兼任教授)から変更
・プロジェクトの内容変更に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群「地域創生プロジェクト B」の担当者を永井 悦子(兼任教授)から変更
○関畑 崇之(兼任講師)
・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「名著講読(社会科学)」の担当者を尾関 はゆみ(兼任講師)から変更
・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「日本国憲法」の担当者を大久保 悠貴(兼任講師)から変更
○博多 哲也(兼任講師)
・プロジェクトの内容変更に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群「地域創生プロジェクト C」の担当者を永井 悦子(兼任教授)から変更
・プロジェクトの内容変更に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群「地域創生プロジェクト D」の担当者を永井 悦子(兼任教授)から変更

<兼任教員>

- 浅尾 慶一郎(兼任講師)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群科目群「政治学(国際政治を含む。)」の担当者を近 裕一(兼任講師)に変更
- 上岡 真紀子(兼任講師)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「情報サービス演習 B」の担当者を松山 巖(兼任教授)から変更
- 大久保 悠貴(兼任講師)
- ・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群科目群「日本国憲法」の担当者を関畑 崇之(兼任講師)に変更
- 川崎 敏治(兼任講師)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、200番台科目群「微分方程式 I」の担当者を江下 和章(兼任講師)に変更
- 茂木 輝順(兼任講師)
- ・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群科目群「生命と性の教育」の担当者を光武 智美(兼任講師)に変更
- 米田 充彦(兼任講師)
- ・教育内容の充実を図るため、300番台科目群「デザイン思考」の担当者を中島 充雄(兼任講師)に変更

【令和5年度追加】

- 近 裕一(兼任講師)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「政治学(国際政治を含む。)」の担当者を浅尾 慶一郎(兼任講師)から変更
- 白勢(浦邊) 美咲(兼任講師)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「ELF Foundation (C)」の担当者を岡田 トリシャ(兼任准教授)に変更
- 高柳 克弘(兼任講師)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)言語表現科目群科目群「日本語表現 102」の担当者を船戸 はるな(兼任准教授)に変更

【令和6年度追加】

- 伊藤 光雅(兼任講師)
- ・教育体制の充実を図るため、100番台科目「物理学 I」の担当者として追加
- 江下 和章(兼任講師)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、200番台科目「微分方程式 I」の担当者を川崎 敏治(兼任講師)から変更
- 黄 美蘭(兼任講師)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「日本語教育概論」の担当者を船戸 はるな(兼任准教授)から変更
- 田中 藍渚(兼任講師)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「BELF 上級」の担当者をYOJOBO YURI JODY(兼任准教授)から変更
- 中島 充雄(兼任講師)
- ・教育内容の充実を図るため、300番台科目「デザイン思考」の担当者を米田 充彦(兼任講師)から変更
- BRAZHNIKOVATSYBIZOVA Violetta(兼任講師)
- ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、担当科目にUS科目(全学共通科目)言語表現科目群「スペイン語 101」を追加
- ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、担当科目にUS科目(全学共通科目)言語表現科目群「スペイン語 102」を追加
- 光武 智美(兼任講師)
- ・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「生命と性の教育」の担当者を茂木 輝順(兼任講師)から変更

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。**原則としてA C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

- (注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) -② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
8	4
名	名

- (注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
- ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
5	2	1	0	8	0	6	2	2	0	10	1
(5)	(2)	(1)	(0)	(8)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
6	2	2	0	10	1	6	2	2	0	10	1
[+1]	[±0]	[+1]	[±0]	[+2]	[+1]	[+1]	[±0]	[+1]	[±0]	[+2]	[+1]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{8} = \boxed{125} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{1}{0} = \boxed{-} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし(5)					
		該当なし(6)					
合 計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし(5)					
		該当なし(6)					
合 計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{8} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし(5)								
		該当なし(6)								
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和4年度)	工学部ソフトウェアサイエンス学科の入学定員超過の是正に努めること。	【届出】 遵守事項 過年度の入試結果を踏まえ、入学定員超過の是正ならびに入学定員60名の確保を目標に入試判定会議において合格者数を決定している。令和5年度入試も過去の入試結果における手続率・辞退率・歩留率を参考に合格者数を決定した。その結果、令和5年度の入学定員超過率は1.26、過去4カ年の平均入学定員超過率は1.28(令和2:1.26、令和3:1.25、令和4:1.36)となった。(5) 過年度の入試結果を踏まえ、入学定員超過の是正ならびに入学定員60名の確保を目標に入試判定会議において合格者数を決定している。令和6年度入試も過去の入試結果における手続率・辞退率・歩留率を参考に合格者数を決定した。その結果、令和6年度の入学定員超過率は1.45、過去4カ年の平均入学定員超過率は1.33(令和3:1.25、令和4:1.36、令和5:1.26)、収容定員充足率は1.23となった。(6)	履行中 引き続き入試判定会議において社会的動向や入試結果に基づき手続率・辞退率・歩留率を分析し、入学定員超過率が1.00となるよう努める。(5) 引き続き入試判定会議において社会的動向や入試結果に基づき手続率・辞退率・歩留率を分析し、入学定員超過率および収容定員充足率が1.00となるよう努める。(6)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	収容定員充足率が0.47倍と著しく低い。教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、速やかに長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、より効果的な改善策を新たに講じる等、入学定員の更なる充足に努めること。また、当該分析を踏まえ、入学定員の見直しも検討すること。(芸術学部音楽学科)	【A C】 指摘事項 (是正) 収容定員充足率は0.44と低いままである。定員未充足の主な原因は、コロナ禍以降一層強まった志願者の実学志向ならびに、音楽学科の特色である実技教育における対面授業の実施が新型コロナウイルス感染症の拡大により困難となったことが考えられる。 また、総合大学における音楽学科の教育課程や教育内容などの具体的な情報が受験生に十分理解されていないことも一因と考えている。更に、認知度調査により、競合校と比較して本学の認知度が低いということが判明した。上記を踏まえ、令和5年度には、ミュージカル上演作品や演奏会のWebサイトでの公開など、音楽学科の特色を伝える取り組みを行った。(6)	履行中 音楽学科専任教員による高等学校訪問などの広報強化および玉川大学の認知度を高めるための広報戦略の策定に着手する計画である。 また、一部入学定員を超過している学科もあることから、地域的な動向や競合校の分析などを踏まえ、分野ごとの定員規模および配分の適切性について令和6年度より検討を開始することとしている。(6)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。(工学部デザインサイエンス学科)	【A C】 指摘事項 (改善) 収容定員充足率は0.51と低いままである。定員未充足の主な原因の一つとして、受験生、保護者にとって学科名から教育課程、教育内容の具体的なイメージが難しいことが考えられる。更に、認知度調査により、競合校と比較して本学の認知度が低いということが判明した。 上記を踏まえ、特色的かつ学修成果があがっているソーラーカープロジェクトや外部のコンテストの受賞実績などをキーワードとした広報強化、また高等学校からの授業参観希望や特徴的な施設の使用希望への対応をすることで、教育内容を分かりやすく示した。(6)	履行中 左記取り組みに加え、オープンキャンパスにおける学生による研究室紹介実施等、教育内容を分かりやすく伝えることを目的とした広報強化、玉川大学の認知度を高めるための広報戦略の策定に着手する計画である。 また、一部入学定員を超過している学科もあることから、地域的な動向や競合校の分析などを踏まえ、分野ごとの定員規模および配分の適切性について令和6年度より検討を開始することとしている。(6)

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。
- その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 デザインサイエンス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

<玉川大学FD委員会規程を転載>

(目的)

第1条 玉川大学(以下「本大学」という。)教員の、教育研究活動の向上・能力開発に関して恒常的に検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、大学FD(ファカルティ・ディベロップメント)(以下「FD」という。)委員会(以下「本委員会」という。)を置く。

(組織)

第2条 本委員会は、委員長、委員、事務担当をもって構成する。

2 前項の委員長は教学部長とする。

3 委員は、各学部のFD担当が当たる。

4 委員等は、毎年度当初、学長がこれを委嘱する。

5 委員長が必要と認めたときは副委員長を置くことができる。

6 本委員会には学部ごとの分科会を設けることができる。

7 前項による分科会のまとめ役及び委員は学部長が選任する。

(任期)

第3条 委員の任期は1か年とする。ただし、再任を妨げない。

(運営)

第4条 本委員会は、委員長が招集・開会し、議長となる。

2 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

(審議事項)

第5条 本委員会は、次の事項を審議する。

(1) 教育研究活動改善の方策に関する事項

(2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項

(3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項

(4) FDに関する教員への各種コンサルティングに関する事項

(5) 教員のFD活動の指針に関する冊子及びFD活動報告書の刊行

(6) 分科会からの報告・審議に関する事項

(7) その他FDに関連する事項

(分科会)

第6条 各分科会は、FD担当が取りまとめ、本委員会に検討・実施事項を報告しなければならない。

2 各分科会にはFD活動を円滑に進めるため、FDer(ファカルティ・ディベロッパー)(以下、「FDer」)を置く。FDerはFD担当が兼ねることができる。

(答申)

第7条 委員長は、本委員会の審議結果を学長に答申しなければならない。

(実施事項の決定)

第8条 前条の答申内容の実施については、大学部長会の議を経て学長が決定する。

(実施事項の運用)

第9条 前条により決定した実施事項に関する実際の運用に関しては、教務委員会及び教育研究活動等点検調査委員会との調整を図りながら検討、実施するものとする。

(事務主管)

第10条 本委員会に係る事務主管は、教学部が行う。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和5年度は6回（5月、7月、9月、11月、2月、3月）開催し、委員長1名（教学部長）、委員9名（各学部FD担当教員1名、ELFセンターFD担当教員1名）、事務担当3名により、教員の教育研究活動の質的充実を目的とした検討・立案を行った。

c 委員会の審議事項等

大学FD委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 教育研究活動改善の方策に関する事項
- (2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項
- (3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項
- (4) FDに関する教員への各種コンサルティングに関する事項
- (5) 教員のFD活動の指針に関する冊子及びFD活動報告書の刊行
- (6) 分科会からの報告・審議に関する事項
- (7) その他FDに関連する事項

② 実施状況

a 実施内容

- (1) 学生による授業評価アンケート
- (2) FD研修会
- (3) 授業評価検討会・授業評価総合検討会・MR（マネジメントレビュー）
- (4) 研究授業
- (5) 新任教員研修会（教育理念・目的の理解他）
- (6) 非常勤教員研修会（本学の教育改革の理解他）
- (7) FD活動報告書作成・公表

b 実施方法

c 開催状況（教員の参加状況含む）

大学FD委員会及び工学部FD委員会（学部長、主任、FD担当で構成）において下記の通り実施した。

(1) 学生による授業評価アンケート

工学部の開講科目について、各学期それぞれ期中、期末に実施した（年4回）。授業内容・方法・スキルの向上などの授業改善およびカリキュラム改善の検討に役立てることを目的として実施。

(2) FD研修会

①「大学教育力研修」（大学全体）

授業の内容及び方法の改善を図り、教員個々の教育研究活動等のより一層の充実を目指すとともに、本学の運営に必要な知識・技能を身に付け、能力・資質を向上させることを目指し、以下の通り研修を実施。

- ・基調講演「障害と大学の現在－障害のある学生に対する合理的配慮とは何か」
- ・ワークショップ（分科会）
「生成AIを活用した実践事例とワークショップ」「教育資源としての玉川キャンパス：労作教育を問い直す」
「ルーブリック評価スタートアップ～評価の原則から組織での活用まで～」他
- ・授業手法の工夫に関する事例報告

②工学部FD研修会（工学部）

工学部全教員が、入学時に実施する数学、物理のプレースメントテストの結果やGPA、単位修得率に基づき成績動向を共有することで、組織的にカリキュラムを展開し、学修指導に効果的に反映することを目的として実施。

③生成AIに関する情報共有（工学部）

学内のオンデマンドツール上に工学部の専任及び非常勤教員が生成AIに関連する情報交換の場を作成した。急激な速度で進化する生成AIの利用に関する最新情報を共有し、組織的に対応することを目的として実施。

④生成AI対応に関するアンケート（工学部）

教員を対象とし、生成AIの利用状況等を把握して生成AIに関するFD研修会の開催等を検討することを目的として実施。

⑤生成AIに関するFD研修会（工学部）

KDDIテクノロジーのCTOを講師として招き、「ChatGPTの進化とその活用」をテーマに、生成AIに対する理解を深め教育・研究・業務に活用することを目的として実施。

(3) 授業評価検討会・授業評価総合検討会・MR（マネジメントレビュー）（工学部）

平成29年まで認証を受けていたISO9001の教育クオリティマネジメントシステムに基づき実施している。

授業評価検討会（学科別に全教員で構成）では、各学期の終了後に学科ごとに作成する「授業実施チェックシート」や授業アンケートの集計結果に基づき、授業改善を検討する。その後、授業評価検討会の結果を基に、授業評価総合検討会（教務主任、教務担当、FD担当で構成）において、当該年度の検証および次学期以降の方針について検討を行う。MR（マネジメントレビュー）では各学科で実施されたMRの結果に基づき、工学部全体の教育活動全体の検証および次学期以降の方針について検討を行う。

中央教育審議会の答申等において、「人材養成等教育研究に係る目的」および3つのポリシーに基づく組織的な教育研究活動および学修成果の把握結果に基づいてFDを展開することが求められていることを考慮して書式の見直しを行った。

(4) 研究授業(工学部)

学期ごとに各学科1名の教員が自身の担当科目の参観授業(研究授業)を実施。参観者の評価に基づき授業改善を行うことを目的として実施。参観後、参観者は「工学部研究授業チェックシート」を授業担当者に提出する。授業担当者は参観者の評価を受け「研究授業科目担当者票」を作成し、学部長、教務主任、学科主任、教務担当、FD担当に提出する。

(5) 新任教員研修会(新任専任教員対象)(大学全体)

玉川学園の建学の精神、玉川大学の教育理念・教育方針を理解し、専任教員としての業務に必要な知識を得ることを目的として実施。

(6) 非常勤教員研修会(大学全体)

本学で授業を担当するにあたり、本学が目指す教育および教育改革について理解すること並びに授業設計や授業手法の工夫事例を共有し授業改善の参考とすること目的として動画研修を実施。

(7) FD活動報告書作成・公表(大学全体)

玉川大学FD委員会における議事及び全学的FD活動及び各学部FD活動の報告、授業評価アンケートの結果を公表。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生による授業アンケート結果に加え、研究授業における教員の評価、授業評価検討会・授業評価総合検討会・MR等により、様々な視点から授業改善につなげることができた。また、生成AIに関する教員アンケートの実施により教員の需要をつかみ、研修の開催、オンデマンドツール上での情報交換の場の設定を行うことで、急速に進化する生成AIの最新情報や課題を迅速に組織的に共有することができた。
オンデマンドツール上の生成AIに関する情報交換の場では100件以上の情報が投稿されており、対応・活用事例や倫理・著作権など、教育場面で直面しうる情報を随時更新することができている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年4回実施(春学期・秋学期 それぞれ期中・期末に実施)

b 教員や学生への公開状況、方法等

全科目(ユニバーシティ・スタンダード科目および専門科目)を対象として授業評価アンケートを実施、結果を教員にフィードバックおよびWebページで公開した。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

社会が急激に変化する時代においては、与えられた問題を解くのではなく、自ら課題を発見し解決手法を自ら作り出していく人材が必要である。種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力を有した人材を育成すべきといった社会の要請にこたえるため、工学部デザインサイエンス学科では、解が一つに定まらない社会の課題に対し、機械工学分野を中心とした科学、技術を活用して、実現可能な解を見つけることができる「デザイン能力」を有する技術者の育成を目指した教育を行っている。

この人材養成の目的を達成するため、以下の方針で教育課程を編成している。

- ・数学・物理学などの自然科学分野から、経済学・社会学などの社会科学分野、芸術・哲学・英語・日本語などの人文科学・語学分野まで、多様な学問分野を幅広く学ぶ。
- ・課題を発見し解決する力を身に付けるために、工学倫理、知的財産分野(特許や工業デザインなどの知的財産権)、デザイン分野(人間工学・プロダクトデザインなど)、ロボット分野(機構デザイン・メカトロニクスなど)、環境分野(ソフトエネルギー・都市環境デザインなど)について、地球環境・人類にとって有益であるという観点を基本にして学ぶ。
- ・課題の解決策(解)を社会実装するために、現場での実体験を重視した実験・実習・演習科目を通じて、創造力・コミュニケーション力・イノベーション力を養い、企画・設計・実行・報告などの能力を身に付ける。
- ・課題を多角的に把握するために、商品企画・マーケティング・資金調達などのビジネス分野も学ぶと同時に、研究室活動・学内外各種コンテスト・学会活動等を通じて、再度、課題の発見と解の策定を統合的に学び、「デザイン能力」の完成を目指す。

上記方針に基づき、基礎から専門まで幅広い知識を学修すると共に、様々な技能を修得した上で、それらの知識や技能に基づいた実践力を身に付けられるようにカリキュラムを編成している。幅広い知識を学修する科目は講義形式を中心として、様々な技能を修得する科目は演習形式を中心として授業を実施している。

また、設置計画の通り、各学期に履修登録できる単位数の上限を原則16単位と定め、単位制度の実質化を図っている。そのため、授業と授業との間に空き時間を設定し予習・復習の時間を確保できるように時間割を工夫している。

このように、設置計画通りに令和5年4月より教育活動を展開している。

実際の取組の達成状況は以下の通りである。

1.教育課程

教育課程の編成の基本方針・考え方に基づいて、設置計画の通り、授業科目を開設した。ただし、全学共通のユニバーシティ・スタンダード科目群においては、教育の充実を図ることから開設科目の追加、名称変更を行った。

2.教員組織

教員組織の編成の考え方及び、教育課程を踏まえ、専任教員を配置した。

3.教育方法および履修指導

専門の知識、技能の往還を図りながら体系的に学修できるカリキュラム編成、主体的な学びを目指したアクティブ・ラーニングの導入、履修科目登録上限の16単位設定、学修の質を評価するGPA制度の導入、履修ガイダンスの開催など、設置計画通りに実施している。

4.施設・設備

教育・研究活動に必要な施設・設備は、設置計画通りに整備した。なお、学生の主体的な学びを促進させるための施設「大学教育棟 2014」は、図書館、講義室、研究室、大学事務室をはじめとする学修支援の機能を集約した複合施設で、ラーニング・コモンズにより学生が主体的に学修できる空間を多く配置している。また隣接して食堂棟を設置している。

また、異分野融合によってイノベーションを創出する人材育成の場として建設された「STREAM Hall2019」には、デジタルマシンや工作機械を配置した「メーカーズフロア」を設置。モノづくりのスペースだけでなく、「シェアアイディアスペース」や「プレゼンテーションステップ」といったオープンスペースを多く配置することで、自由に議論をしながらアイディアを形にすることを可能としている。また、同じく異分野融合を図ることを目的として建設された「Consilience Hall 2020」には、「NextGen. Mobility Work Shop(ソーラーカー工房)」を設置。新エネルギーの利用技術の研究に取り組めるようになっている。

5.学生の受入れ

計画した入学者選抜方法に基づいて、募集、試験、選抜を行っている。

6.情報の公表

設置計画の通り、人材養成等教育研究に係る目的、教育課程、入学や学修機会に関する情報などを大学案内の冊子やホームページに掲載し、広く周知を図るよう努めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

b 公表方法

「2017自己点検・評価報告書」を平成30年5月に本学ホームページに掲載し公表した。

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

平成30年度に認証評価機関(公益財団法人大学基準協会)の認証評価を受け、平成31年3月に適合認定を受けた。

また、大学院教育学研究科教職専攻(専門職学位課程)は令和2年度に認証評価機関(一般財団法人教員養成評価機構)の認証評価を受け、適格認定を受けた。いずれも次回は令和7年度に受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和6年度)

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表(予定)時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。